

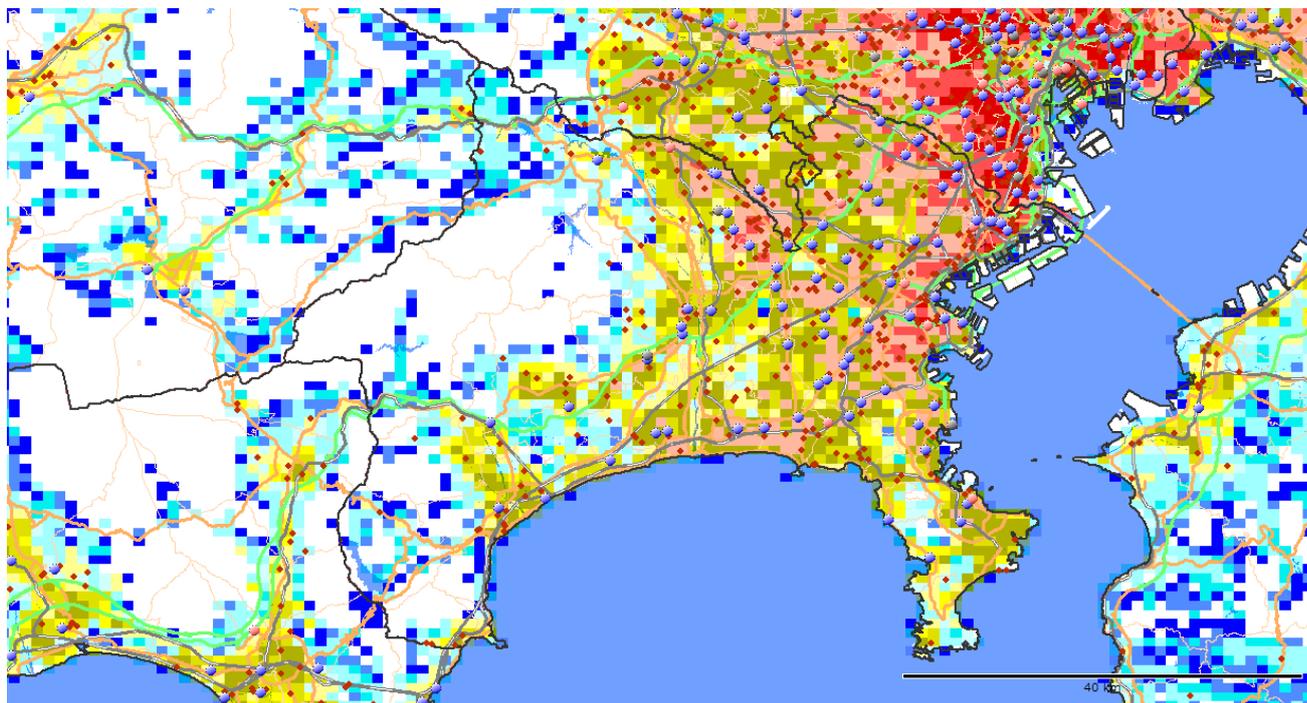


## 14. 神奈川県

### 目次

神奈川県.....	14 - 3
資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料.....	14 - 7
1. 横浜北部医療圏.....	14 - 19
2. 横浜西部医療圏.....	14 - 23
3. 横浜南部医療圏.....	14 - 27
4. 川崎北部医療圏.....	14 - 31
5. 川崎南部医療圏.....	14 - 35
6. 横須賀・三浦医療圏.....	14 - 39
7. 湘南東部医療圏.....	14 - 43
8. 湘南西部医療圏.....	14 - 47
9. 県央医療圏.....	14 - 51
10. 相模原医療圏.....	14 - 55
11. 県西医療圏.....	14 - 59

# 14. 神奈川県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



<sup>1</sup> 神奈川県を1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 14. 神奈川県

### (神奈川県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 神奈川県は、総人口約 9148 千人(2015 年推計)、面積 2416 km<sup>2</sup>、人口密度は 3787 人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 神奈川県の総人口は 2025 年に 9010 千人へと減少し(2015 年比-2%)、2040 年に 8343 千人へと減少する(2025 年比-7%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 1016 千人が、2025 年にかけて 1485 千人へと増加し(2015 年比+46%)、2040 年には 1592 千人へと増加する(2025 年比+7%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 神奈川県の一人当たり医療費(国保)は 292 千円(偏差値 46)、介護給付費は 208 千円(偏差値 39)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 神奈川県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は 0.74、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.5 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 48(病院医師数 46、診療所医師数 51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 40 と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 41 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 49 と全国平均レベルである。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 45 と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 43 と少なく、回復期病床数は偏差値 45 とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 45 で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 46 で診療所数はやや少ない。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 神奈川県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、108020 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 54107 床(偏差値 46)、高齢者住宅等が 53913 床(偏差値 61)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、75433 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 46、特別養護老人ホーム 49、介護療養型医療施設 45、有料老人ホーム 68、軽費ホーム 47、グループホーム 50、サ高住 48 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 49 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 48 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、12748 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

## 【医療と介護の需要予測】

\*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)<sup>3</sup>

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は58585床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は72200床であり、その差は+13615床(+23%)である。

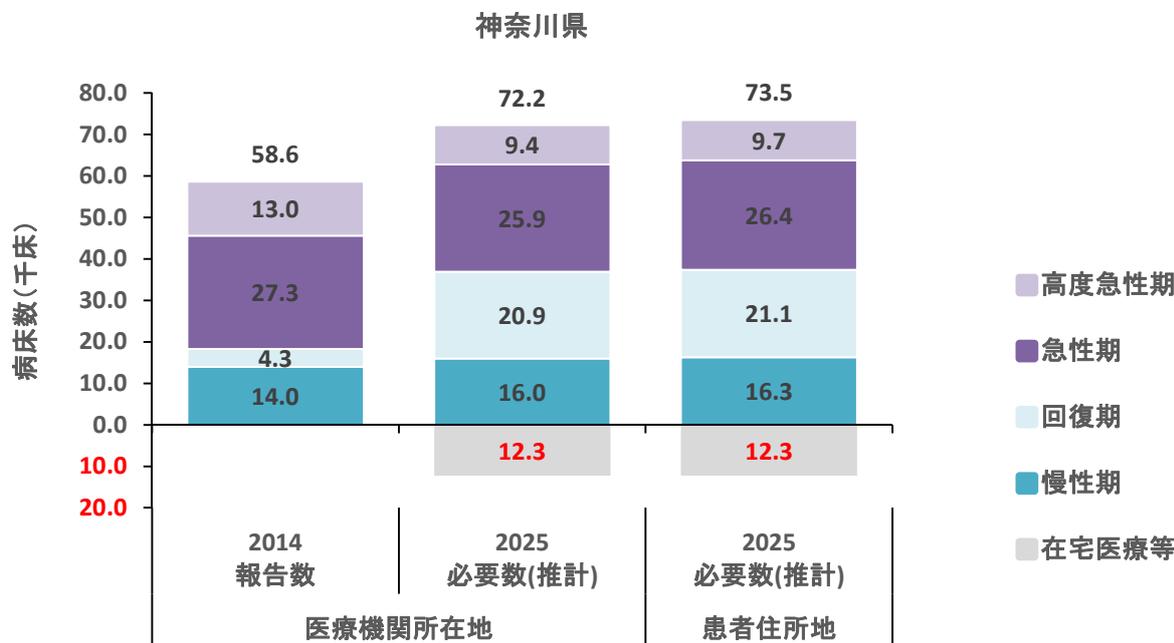
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は12976床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は9400床であり、その差は-3576床(-28%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は27334床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は25900床であり、その差は-1434床(-5%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は4313床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は20900床であり、その差は+16587床(+385%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は13962床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は16000床であり、その差は+2038床(+15%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は12300人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

\*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+17%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-31%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

<sup>3</sup>必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

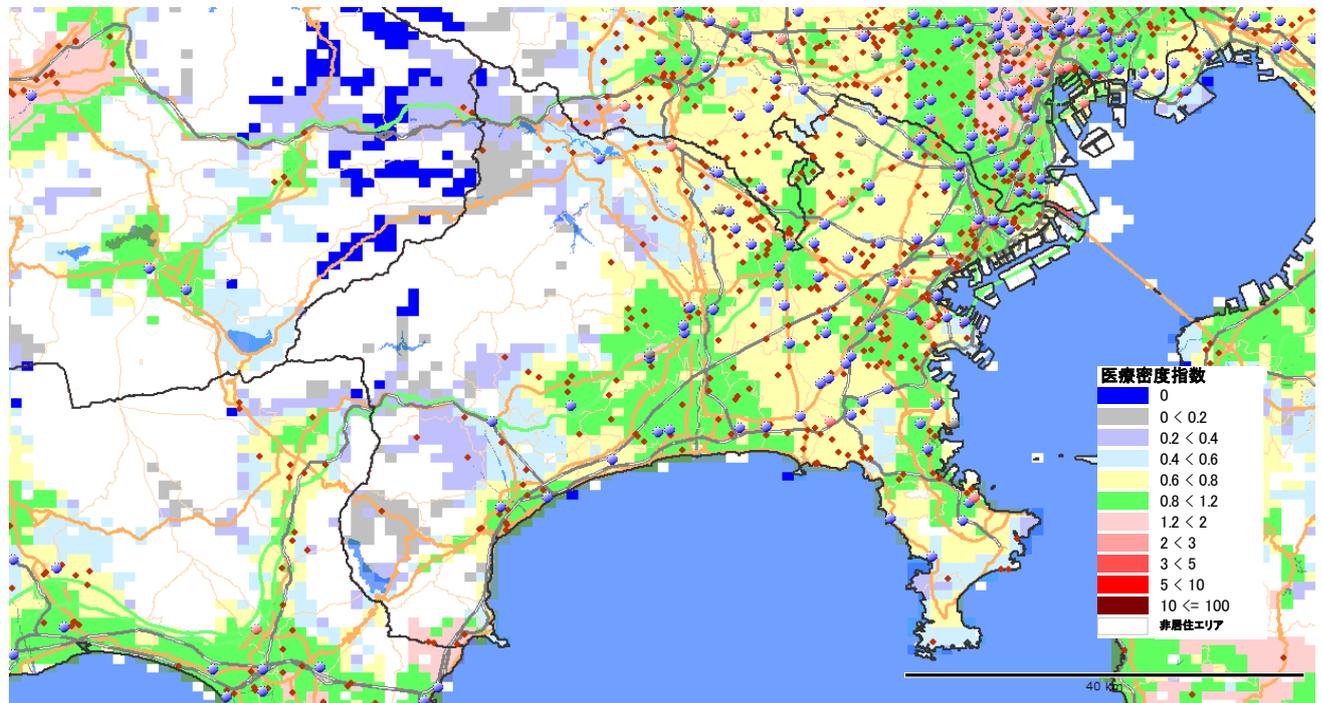
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

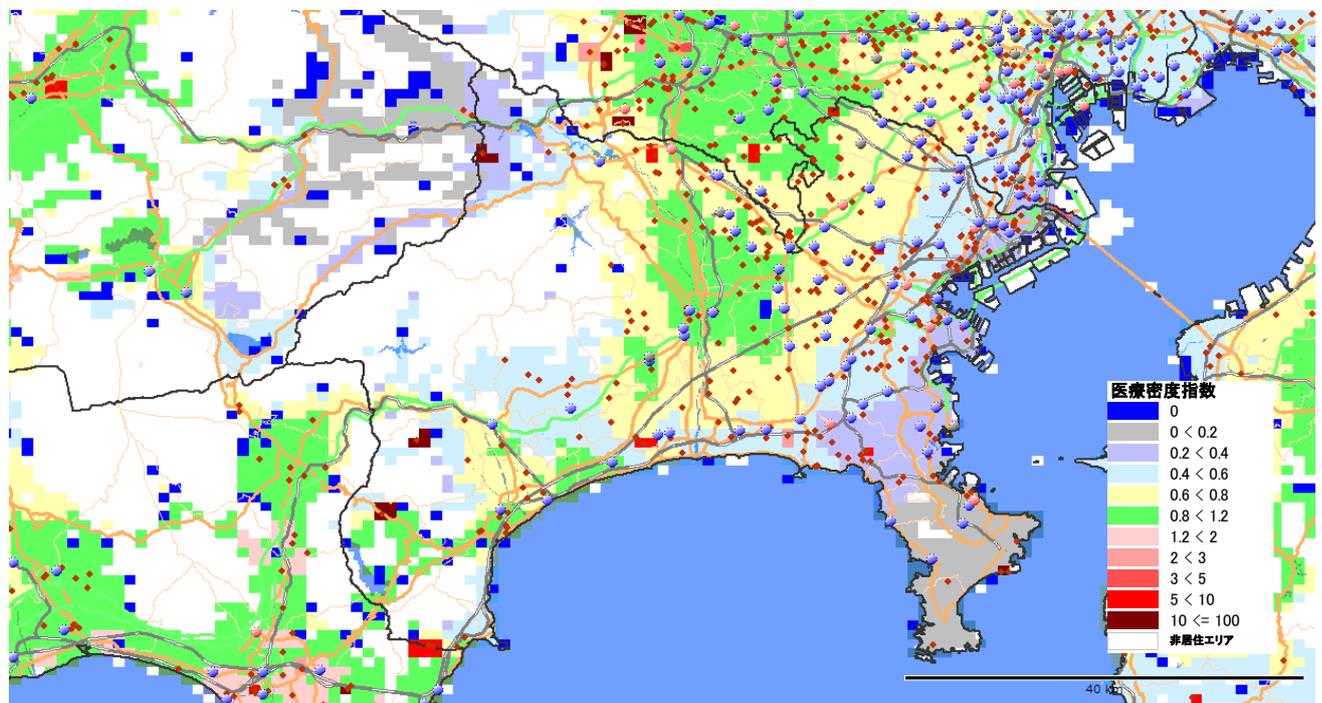
## 14. 神奈川県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 14-1 急性期医療密度指数マップ



図表 14-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>1</sup>

資\_図表 14-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
神奈川県	9,148	2位	2,416	43位	3,786.6		24%	9,010	8,343	1,016	1,485	1,592	-2%	-7%	46%	7%
横浜北部	1,573	17%	177	7%	8,881.4	大都市型	21%	1,608	1,576	150	228	284	2%	-2%	52%	25%
横浜西部	1,118	12%	138	6%	8,087.0	大都市型	26%	1,088	992	143	201	209	-3%	-9%	41%	4%
横浜南部	1,060	12%	122	5%	8,686.3	大都市型	27%	1,017	899	134	191	193	-4%	-12%	43%	1%
川崎北部	853	9%	79	3%	10,835.5	大都市型	20%	879	868	78	120	150	3%	-1%	54%	25%
川崎南部	615	7%	64	3%	9,617.6	大都市型	20%	624	607	57	75	83	1%	-3%	32%	11%
横須賀・三浦	717	8%	207	9%	3,464.2	大都市型	30%	667	570	106	138	123	-7%	-15%	30%	-11%
湘南東部	702	8%	119	5%	5,919.5	大都市型	24%	695	650	76	112	117	-1%	-6%	47%	4%
湘南西部	593	6%	253	10%	2,341.9	大都市型	26%	572	509	67	104	106	-4%	-11%	55%	2%
県央	842	9%	293	12%	2,877.0	大都市型	24%	823	747	81	133	136	-2%	-9%	64%	2%
相模原	724	8%	329	14%	2,201.5	大都市型	24%	711	651	74	120	130	-2%	-8%	62%	8%
県西	350	4%	635	26%	551.0	地方都市型	29%	325	275	48	64	61	-7%	-15%	33%	-5%

出典 <人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資\_図表 14-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
神奈川県	0.74	0.50	16.7%	-21.8%	-30.6%
横浜北部	0.73	0.49	16.2%	-27.0%	-58.0%
横浜西部	0.75	0.25	29.2%	0.5%	-3.8%
横浜南部	0.75	0.37	-36.0%	-93.5%	-95.5%
川崎北部	0.70	0.28	37.9%	4.8%	-18.5%
川崎南部	0.86	0.35	-4.4%	-37.4%	-51.7%
横須賀・三浦	0.67	0.56	6.6%	-21.7%	-9.0%
湘南東部	0.75	0.79	-6.0%	-54.9%	-62.8%
湘南西部	0.86	0.67	13.7%	-33.7%	-35.6%
県央	0.76	0.93	2.7%	-58.9%	-62.5%
相模原	0.64	0.82	19.3%	-30.1%	-42.0%
県西	0.68	1.01	29.8%	5.6%	10.7%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>1</sup> 日医総研 WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

## 14. 神奈川県

資\_図表 14-3 医療費、介護給付費<sup>2</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
神奈川県	292	46	208	39
横浜北部	294	46	247	49
横浜西部	294	46	247	49
横浜南部	294	46	247	49
川崎北部	283	44	243	48
川崎南部	283	44	243	48
横須賀・三浦	303	48	236	46
湘南東部	287	45	202	37
湘南西部	307	49	210	39
県央	285	44	184	32
相模原	278	42	203	37
県西	310	50	211	39
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資\_図表 14-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
神奈川県	342	4.0%	3.7	43	6,545	6.5%	72	46
横浜北部	50	15%	3.2	42	1,219	19%	78	49
横浜西部	50	15%	4.5	45	819	13%	73	47
横浜南部	34	10%	3.2	42	876	13%	83	52
川崎北部	19	6%	2.2	39	485	7%	57	39
川崎南部	22	6%	3.6	42	434	7%	71	46
横須賀・三浦	30	9%	4.2	44	601	9%	84	52
湘南東部	23	7%	3.3	42	529	8%	75	48
湘南西部	22	6%	3.7	43	394	6%	66	43
県央	33	10%	3.9	43	519	8%	62	41
相模原	36	11%	5.0	46	406	6%	56	38
県西	23	7%	6.6	50	263	4%	75	48
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

<sup>2</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。横浜市・川崎市の医療費・介護費については、横浜市・川崎市全体の値しか公開されていないため、横浜市・川崎市に所在する医療圏については同じ値を掲載している。

資\_図表 14-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
神奈川県	6,545	6.5%	72	46	6,267	6.9%	69	48	278	3.0%	3.0	44
横浜北部	1,219	19%	78	49	1,170	19%	74	51	49	18%	3.1	44
横浜西部	819	13%	73	47	789	13%	71	49	30	11%	2.7	43
横浜南部	876	13%	83	52	842	13%	79	54	34	12%	3.2	44
川崎北部	485	7%	57	39	464	7%	54	41	21	8%	2.5	43
川崎南部	434	7%	71	46	417	7%	68	48	17	6%	2.8	43
横須賀・三浦	601	9%	84	52	565	9%	79	54	36	13%	5.0	47
湘南東部	529	8%	75	48	506	8%	72	50	23	8%	3.3	44
湘南西部	394	6%	66	43	379	6%	64	46	15	5%	2.5	43
県央	519	8%	62	41	495	8%	59	43	24	9%	2.8	44
相模原	406	6%	56	38	387	6%	53	40	19	7%	2.6	43
県西	263	4%	75	48	253	4%	72	50	10	4%	2.9	44
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資\_図表 14-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
神奈川県	74,064	4.7%	810	42	2,914	2.4%	32	44	76,978	4.5%	841	41
横浜北部	9,001	12%	572	37	556	19%	35	45	9,557	12%	608	37
横浜西部	10,701	14%	957	44	259	9%	23	43	10,960	14%	981	44
横浜南部	8,032	11%	757	40	262	9%	25	44	8,294	11%	782	40
川崎北部	5,485	7%	643	38	208	7%	24	44	5,693	7%	667	38
川崎南部	5,184	7%	843	42	135	5%	22	43	5,319	7%	865	42
横須賀・三浦	6,376	9%	889	43	380	13%	53	46	6,756	9%	942	43
湘南東部	4,677	6%	666	39	264	9%	38	45	4,941	6%	704	39
湘南西部	6,314	9%	1,065	47	219	8%	37	45	6,533	8%	1,102	46
県央	6,324	9%	751	40	333	11%	40	45	6,657	9%	790	40
相模原	7,828	11%	1,081	47	184	6%	25	44	8,012	10%	1,107	46
県西	4,142	6%	1,183	49	114	4%	33	44	4,256	6%	1,216	48
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

14. 神奈川県

資\_図表 14-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
神奈川県	46,589	5.2%	509	41	13,376	4.1%	146	45	13,864	4.1%	152	45
横浜北部	6,111	13%	389	36	1,870	14%	119	43	1,020	7%	65	41
横浜西部	6,122	13%	548	43	1,340	10%	120	43	3,213	23%	287	51
横浜南部	6,269	13%	591	45	463	3%	44	40	1,224	9%	115	43
川崎北部	3,332	7%	391	36	933	7%	109	43	1,220	9%	143	44
川崎南部	4,346	9%	707	50	548	4%	89	42	238	2%	39	39
横須賀・三浦	4,238	9%	591	45	1,178	9%	164	46	954	7%	133	44
湘南東部	2,706	6%	385	36	988	7%	141	44	977	7%	139	44
湘南西部	3,493	7%	589	45	1,253	9%	211	48	1,512	11%	255	49
県央	3,956	8%	470	40	935	7%	111	43	1,432	10%	170	46
相模原	3,928	8%	543	43	2,769	21%	382	56	1,125	8%	155	45
県西	2,088	4%	597	45	1,099	8%	314	53	949	7%	271	50
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資\_図表 14-8 回復期リハビリ病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	74,508		59	(46)
神奈川県	3,384	4.5%	37	45
横浜北部	597	18%	38	45
横浜西部	373	11%	33	45
横浜南部	433	13%	41	46
川崎北部	220	7%	26	43
川崎南部	186	5%	30	44
横須賀・三浦	256	8%	36	45
湘南東部	206	6%	29	44
湘南西部	301	9%	51	48
県央	543	16%	64	51
相模原	199	6%	27	43
県西	70	2%	20	42
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期 リハビリテーション病棟連絡協議会の独 自調査 平成27年3月			

資\_図表 14-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
神奈川県	176,628	6.9%	1,931	49	63,576	6.0%	695	45
横浜北部	27,684	16%	1,760	47	10,044	16%	639	43
横浜西部	23,364	13%	2,091	51	8,436	13%	755	47
横浜南部	30,996	18%	2,923	59	7,380	12%	696	45
川崎北部	10,704	6%	1,255	42	4,560	7%	534	40
川崎南部	16,284	9%	2,647	56	5,412	9%	880	51
横須賀・三浦	13,200	7%	1,841	48	4,200	7%	586	41
湘南東部	7,272	4%	1,035	39	5,844	9%	832	50
湘南西部	14,388	8%	2,426	54	3,360	5%	567	41
県央	11,928	7%	1,416	43	7,452	12%	885	52
相模原	16,224	9%	2,241	52	4,644	7%	641	43
県西	4,584	3%	1,310	42	2,244	4%	641	43
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 14-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
神奈川県	21,731	6.6%	238	48	12,597	6.1%	138	46	9,134	7.5%	100	51
横浜北部	3,358	15%	213	45	1,668	13%	106	41	1,690	18%	107	54
横浜西部	2,605	12%	233	47	1,525	12%	136	46	1,081	12%	97	50
横浜南部	3,346	15%	315	56	1,940	15%	183	53	1,406	15%	133	62
川崎北部	1,839	8%	216	45	1,168	9%	137	46	671	7%	79	44
川崎南部	1,688	8%	274	52	1,056	8%	172	51	633	7%	103	52
横須賀・三浦	1,846	8%	257	50	1,031	8%	144	47	815	9%	114	56
湘南東部	1,341	6%	191	42	661	5%	94	39	680	7%	97	50
湘南西部	1,587	7%	268	51	1,105	9%	186	54	482	5%	81	45
県央	1,549	7%	184	41	739	6%	88	38	811	9%	96	50
相模原	1,829	8%	253	49	1,314	10%	181	53	515	6%	71	42
県西	743	3%	212	45	392	3%	112	42	351	4%	100	51
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

14. 神奈川県

資\_図表 14-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
神奈川県	51,827	4.8%	567	40	44,012	4.9%	481	41	7,816	4.3%	85	42
横浜北部	6,912	13%	439	36	5,684	13%	361	36	1,228	16%	78	41
横浜西部	7,221	14%	646	43	6,126	14%	548	44	1,094	14%	98	44
横浜南部	6,824	13%	643	43	5,900	13%	556	44	924	12%	87	43
川崎北部	3,413	7%	400	34	2,935	7%	344	35	478	6%	56	38
川崎南部	4,192	8%	681	44	3,692	8%	600	46	500	6%	81	42
横須賀・三浦	4,238	8%	591	41	3,457	8%	482	41	782	10%	109	45
湘南東部	3,331	6%	474	37	2,689	6%	383	37	641	8%	91	43
湘南西部	4,213	8%	710	45	3,779	9%	637	47	434	6%	73	41
県央	4,230	8%	502	38	3,381	8%	401	38	849	11%	101	44
相模原	5,002	10%	691	45	4,415	10%	610	46	587	8%	81	42
県西	2,253	4%	644	43	1,953	4%	558	44	299	4%	85	42
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 14-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
神奈川県	4,741	4.2%	52	43	20,212	7.2%	221	50
横浜北部	758	16%	48	42	3,686	18%	234	51
横浜西部	654	14%	59	44	2,456	12%	220	50
横浜南部	532	11%	50	42	2,555	13%	241	52
川崎北部	290	6%	34	39	1,632	8%	191	47
川崎南部	279	6%	45	41	1,437	7%	234	51
横須賀・三浦	434	9%	61	44	1,543	8%	215	49
湘南東部	292	6%	42	41	1,702	8%	242	52
湘南西部	436	9%	74	47	1,265	6%	213	49
県央	512	11%	61	44	1,507	7%	179	46
相模原	389	8%	54	43	1,506	7%	208	49
県西	164	3%	47	42	923	5%	264	55
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資\_図表 14-13 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
神奈川県	847	5.9%	0.8	49	49	4.8%	0.0	48
横浜北部	174	21%	1.2	56	8	16%	0.1	48
横浜西部	85	10%	0.6	44	12	24%	0.1	54
横浜南部	77	9%	0.6	43	7	14%	0.1	48
川崎北部	62	7%	0.8	48	2	4%	0.0	44
川崎南部	58	7%	1.0	53	0	0%	0	39
横須賀・三浦	89	11%	0.8	49	6	12%	0.1	49
湘南東部	90	11%	1.2	57	5	10%	0.1	51
湘南西部	63	7%	0.9	51	1	2%	0.0	42
県央	59	7%	0.7	47	2	4%	0.0	44
相模原	43	5%	0.6	44	5	10%	0.1	51
県西	47	6%	1.0	52	1	2%	0.0	43
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資\_図表 14-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
神奈川県	108,020	6.9%	106	57	54,107	5.6%	53	46	53,913	8.9%	53	61
横浜北部	17,031	16%	113	61	8,832	16%	59	50	8,199	15%	55	62
横浜西部	18,072	17%	127	69	10,537	19%	74	62	7,535	14%	53	61
横浜南部	8,857	8%	66	32	4,971	9%	37	33	3,886	7%	29	44
川崎北部	11,531	11%	147	82	3,923	7%	50	43	7,608	14%	97	92
川崎南部	5,247	5%	92	48	2,125	4%	37	33	3,122	6%	55	63
横須賀・三浦	9,870	9%	93	49	5,138	9%	49	42	4,732	9%	45	56
湘南東部	7,069	7%	93	48	3,158	6%	41	37	3,911	7%	51	60
湘南西部	7,268	7%	108	58	3,287	6%	49	42	3,981	7%	59	66
県央	8,205	8%	101	53	4,306	8%	53	45	3,899	7%	48	58
相模原	8,493	8%	115	62	4,985	9%	67	57	3,508	7%	47	57
県西	6,377	6%	133	73	2,845	5%	59	51	3,532	7%	74	76
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

14. 神奈川県

資\_図表 14-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
神奈川県	19,632	5.5%	19	46	32,319	6.0%	32	49	2,156	3.1%	2.1	45
横浜北部	3,360	17%	22	51	5,158	16%	34	51	314	15%	2.1	45
横浜西部	4,112	21%	29	62	6,203	19%	43	60	222	10%	1.6	44
横浜南部	2,084	11%	16	39	2,887	9%	21	39	0	0%	0	40
川崎北部	1,413	7%	18	44	2,255	7%	29	46	255	12%	3.3	48
川崎南部	622	3%	11	31	1,405	4%	25	42	98	5%	1.7	44
横須賀・三浦	1,803	9%	17	42	3,272	10%	31	48	63	3%	0.6	41
湘南東部	1,216	6%	16	40	1,822	6%	24	41	120	6%	1.6	44
湘南西部	1,208	6%	18	43	1,936	6%	29	46	143	7%	2.1	45
県央	1,605	8%	20	46	2,657	8%	33	50	44	2%	0.5	41
相模原	1,231	6%	17	41	3,023	9%	41	58	731	34%	9.9	63
県西	978	5%	20	48	1,701	5%	36	53	166	8%	3.5	48
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 14-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
神奈川県	31,614	15.1%	31.1	68	731	3.6%	0.7	47	11,367	6.1%	11.2	50
横浜北部	4,465	14%	29.7	67	100	14%	0.7	47	1,860	16%	12.4	52
横浜西部	4,108	13%	28.8	66	190	26%	1.3	50	2,136	19%	15.0	56
横浜南部	2,513	8%	18.7	56	0	0%	0	43	877	8%	6.5	41
川崎北部	5,463	17%	69.8	107	214	29%	2.7	58	1,043	9%	13.3	54
川崎南部	1,682	5%	29.5	67	0	0%	0	43	713	6%	12.5	52
横須賀・三浦	3,311	10%	31.3	69	0	0%	0	43	1,095	10%	10.4	48
湘南東部	2,038	6%	26.7	64	0	0%	0	43	696	6%	9.1	46
湘南西部	2,328	7%	34.6	72	187	26%	2.8	58	620	5%	9.2	46
県央	2,003	6%	24.6	62	0	0%	0	43	750	7%	9.2	46
相模原	1,676	5%	22.6	60	40	5%	0.5	46	986	9%	13.3	54
県西	2,027	6%	42.4	80	0	0%	0	43	591	5%	12.4	52
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 14-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
神奈川県	10,201	5.4%	10.0	48	999	10.6%	1.0	53	9,202	5.1%	9.1	47
横浜北部	1,774	17%	11.8	50	0	0%	0	45	1,774	19%	11.8	51
横浜西部	1,101	11%	7.7	44	157	16%	1.1	54	944	10%	6.6	43
横浜南部	496	5%	3.7	37	30	3%	0.2	47	466	5%	3.5	37
川崎北部	888	9%	11.3	50	75	8%	1.0	53	813	9%	10.4	49
川崎南部	727	7%	12.7	52	122	12%	2.1	63	605	7%	10.6	49
横須賀・三浦	326	3%	3.1	36	15	2%	0.1	47	311	3%	2.9	36
湘南東部	1,177	12%	15.4	56	48	5%	0.6	50	1,129	12%	14.8	56
湘南西部	846	8%	12.6	52	64	6%	1.0	53	782	8%	11.6	51
県央	1,146	11%	14.1	54	48	5%	0.6	50	1,098	12%	13.5	54
相模原	806	8%	10.9	49	122	12%	1.6	59	684	7%	9.2	47
県西	914	9%	19.1	62	318	32%	6.6	99	596	6%	12.5	53
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 14-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
神奈川県	8,530	5.6%	8.4	46	6,208	5.3%	6.1	46	2,322	6.2%	2.3	50
横浜北部	1,356	16%	9.0	49	942	15%	6.3	47	414	18%	2.8	56
横浜西部	1,334	16%	9.3	50	978	16%	6.8	49	355	15%	2.5	53
横浜南部	856	10%	6.4	38	523	8%	3.9	36	333	14%	2.5	53
川崎北部	812	10%	10.4	54	647	10%	8.3	55	165	7%	2.1	48
川崎南部	396	5%	6.9	41	289	5%	5.1	41	107	5%	1.9	45
横須賀・三浦	750	9%	7.1	41	553	9%	5.2	42	197	8%	1.9	45
湘南東部	596	7%	7.8	44	428	7%	5.6	44	168	7%	2.2	49
湘南西部	629	7%	9.3	50	449	7%	6.7	48	181	8%	2.7	55
県央	628	7%	7.7	44	438	7%	5.4	43	190	8%	2.3	51
相模原	730	9%	9.8	52	608	10%	8.2	55	122	5%	1.7	42
県西	443	5%	9.3	50	353	6%	7.4	51	90	4%	1.9	45
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

14. 神奈川県

資\_図表 14-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
神奈川県	88,181	6.1%	87	49	75,433	6.1%	74	50	12,748	5.8%	12.6	49
横浜北部	14,626	17%	97	56	12,378	16%	82	55	2,248	18%	14.9	53
横浜西部	14,215	16%	100	57	12,585	17%	88	59	1,629	13%	11.4	47
横浜南部	9,713	11%	72	40	7,619	10%	57	38	2,094	16%	15.6	54
川崎北部	7,462	8%	95	55	6,572	9%	84	56	890	7%	11.4	46
川崎南部	4,650	5%	82	46	3,720	5%	65	43	930	7%	16.3	56
横須賀・三浦	8,273	9%	78	44	7,076	9%	67	45	1,197	9%	11.3	46
湘南東部	6,031	7%	79	44	5,069	7%	66	44	962	8%	12.6	49
湘南西部	5,470	6%	81	46	4,752	6%	71	47	718	6%	10.7	45
県央	6,764	8%	83	47	5,881	8%	72	48	883	7%	10.8	45
相模原	6,715	8%	91	52	5,877	8%	79	53	838	7%	11.3	46
県西	4,263	5%	89	51	3,904	5%	82	55	359	3%	7.5	39
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 14-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
神奈川県	67,199	9.2%	66	59	25,581	7.3%	25	54	88,809	6.2%	87	50
横浜北部	14,495	22%	96	71	4,994	20%	33	63	15,484	17%	103	55
横浜西部	4,404	7%	31	44	3,895	15%	27	57	12,136	14%	85	50
横浜南部	5,091	8%	38	47	3,684	14%	27	57	15,242	17%	113	59
川崎北部	8,345	12%	107	76	1,997	8%	26	55	6,399	7%	82	48
川崎南部	6,153	9%	108	76	1,024	4%	18	46	6,151	7%	108	57
横須賀・三浦	7,963	12%	75	63	2,014	8%	19	48	8,430	9%	80	48
湘南東部	6,757	10%	88	68	1,796	7%	24	53	7,089	8%	93	52
湘南西部	3,095	5%	46	51	1,820	7%	27	56	4,481	5%	67	43
県央	6,208	9%	76	63	1,789	7%	22	51	5,558	6%	68	44
相模原	1,742	3%	23	41	1,384	5%	19	47	5,566	6%	75	46
県西	2,946	4%	62	57	1,184	5%	25	54	2,273	3%	48	37
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 14-21 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
神奈川県	26,232	23,255	669	47,890	23,134	13,196	50.1%	49	4.8%	48
横浜北部	2,111	1,713	96	6,868	4,345	1,812	28.3%	40	5.0%	48
横浜西部	2,932	2,473	0	7,740	3,614	1,344	40.6%	45	0.0%	46
横浜南部	5,550	4,891	94	2,500	1,394	500	77.8%	61	15.8%	53
川崎北部	2,004	1,832	120	3,831	1,500	974	55.0%	51	11.0%	51
川崎南部	1,844	1,754	0	3,209	2,510	499	41.1%	45	0.0%	46
横須賀・三浦	3,168	2,494	302	2,994	1,588	832	61.1%	54	26.6%	58
湘南東部	937	937	0	3,857	1,940	944	32.6%	42	0.0%	46
湘南西部	2,011	1,955	0	4,251	1,426	1,369	57.8%	52	0.0%	46
県央	1,272	1,271	0	5,003	2,662	1,115	32.3%	42	0.0%	46
相模原	2,796	2,733	57	5,068	1,235	2,708	68.9%	57	2.1%	47
県西	1,607	1,202	0	2,569	920	1,099	56.6%	52	0.0%	46

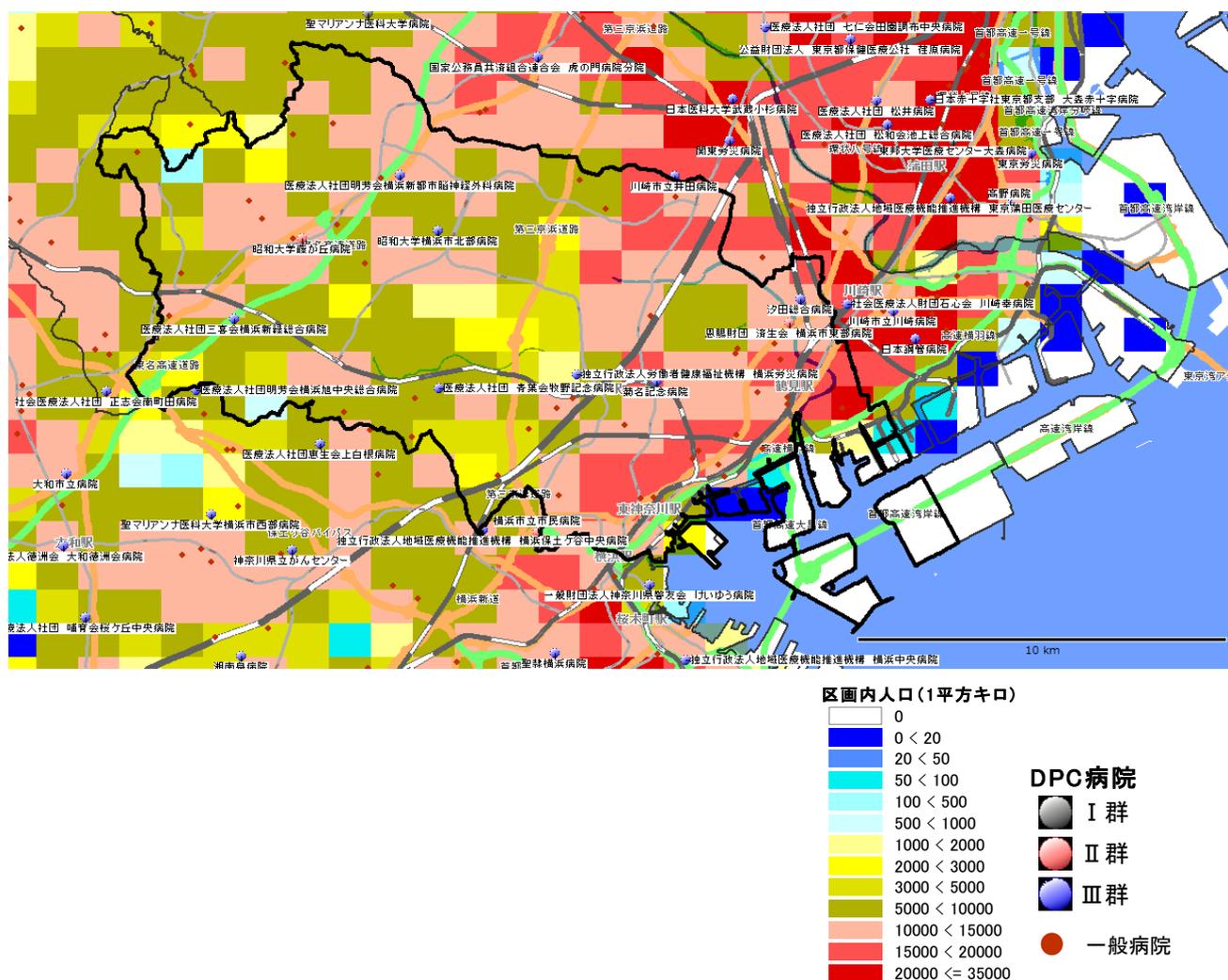
## 14. 神奈川県

# よこはまほくぶ

## 14-1. 横浜北部医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 鶴見区, 神奈川区, 港北区, 緑区, 青葉区, 都筑区

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先へ移動します。

<sup>2</sup> 横浜北部医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 14. 神奈川県

### (横浜北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 横浜北部(横浜市(鶴見区))は、総人口約1573千人(2015年推計)、面積177km<sup>2</sup>、人口密度は8881人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 横浜北部の総人口は2025年に1608千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に1576千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の150千人が、2025年にかけて228千人へと増加し(2015年比+52%)、2040年には284千人へと増加する(2025年比+25%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 横浜北部の一人当たり医療費(国保)は294千円(偏差値46)、介護給付費は247千円(偏差値49)であり、医療費はやや低い、介護給付費は全国平均レベルである。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 横浜北部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は0.73、一人当たり慢性期医療密度指数は0.49で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が45(病院医師数41、診療所医師数54)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は36と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は36で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。横浜北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の横浜市東部病院(Ⅱ群・救命)、昭和大学藤が丘病院(Ⅱ群・救命)、昭和大学横浜市北部病院、横浜労災病院(救命)、1000例以上の菊名記念病院、500例以上の横浜新都市脳神経外科病院、横浜新緑総合病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は41で精神病床数は少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 横浜北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、17031人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8832床(偏差値50)、高齢者住宅等が8199床(偏差値62)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12378人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム67、軽費ホーム47、グループホーム52、サ高住50である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は偏差値48と全

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、2248人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+16%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-58%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

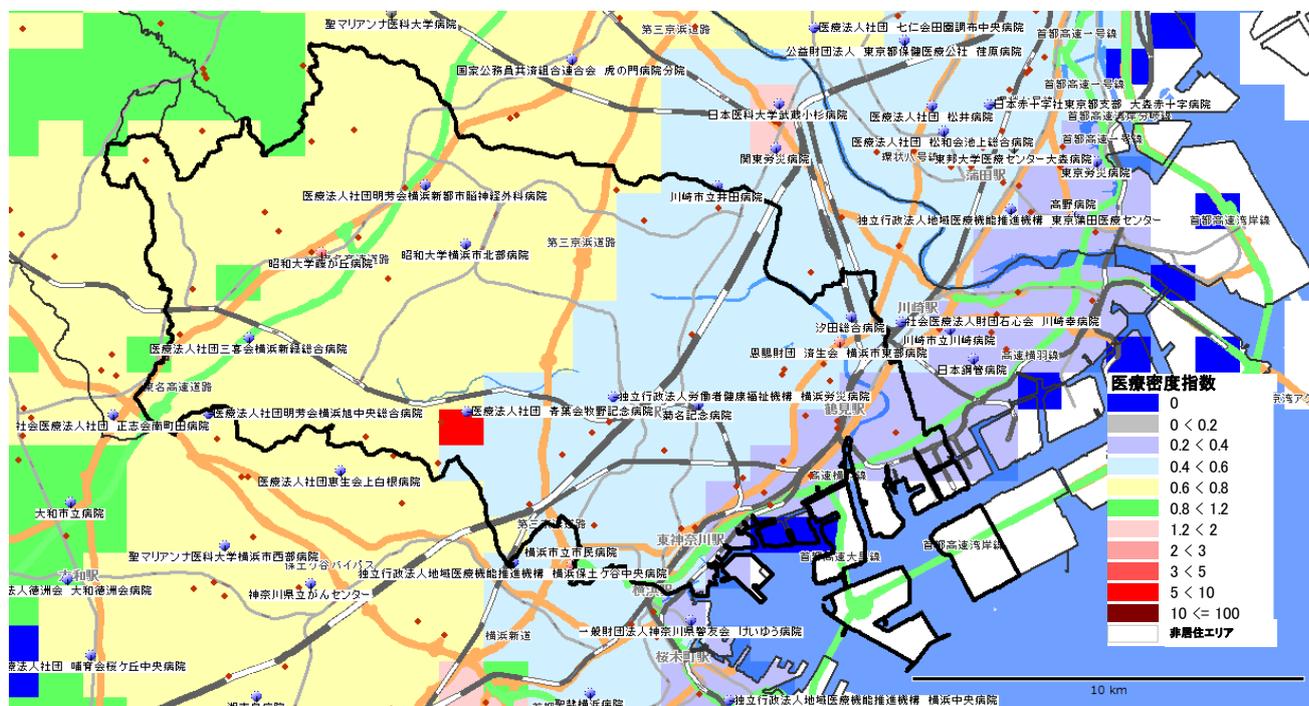
## 14. 神奈川県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 14-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 14-1-2 慢性期医療密度指数マップ

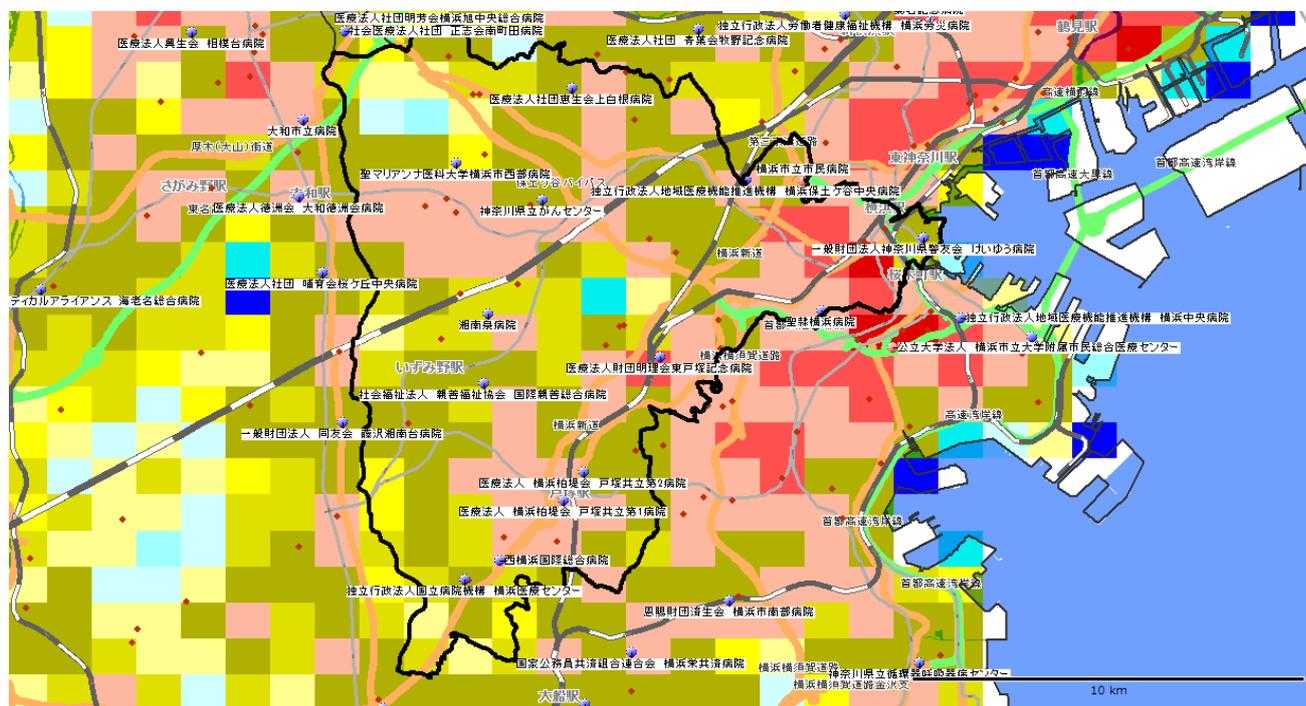


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# よこはませいぶ 14-2. 横浜西部医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [西区](#), [保土ヶ谷区](#), [戸塚区](#), [旭区](#), [瀬谷区](#), [泉区](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 横浜西部医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000 人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所：国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 14. 神奈川県

### (横浜西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 横浜西部(横浜市(西区))は、総人口約1118千人(2015年推計)、面積138km<sup>2</sup>、人口密度は8087人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 横浜西部の総人口は2025年に1088千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に992千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の143千人が、2025年にかけて201千人へと増加し(2015年比+41%)、2040年には209千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 横浜西部の一人当たり医療費(国保)は294千円(偏差値46)、介護給付費は247千円(偏差値49)であり、医療費はやや低い、介護給付費は全国平均レベルである。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 横浜西部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は0.25で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が47(病院医師数46、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は43と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。横浜西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の横浜市立市民病院(Ⅱ群・救命)、横浜医療センター(救命)、神奈川県立がんセンター、けいゆう病院、1000例以上の横浜旭中央総合病院、東戸塚記念病院、国際親善総合病院、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院(救命)、500例以上の西横浜国際総合病院、戸塚共立第2病院、上白根病院、戸塚共立第1病院、横浜保土ヶ谷中央病院、聖隷横浜病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 横浜西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18072人(75歳以上1000人当たりの偏差値69)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が10537床(偏差値62)、高齢者住宅等が7535床(偏差値61)である。介護保険施設、高齢者住宅系ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12585人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム60、介護療養

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

型医療施設 44、有料老人ホーム 66、軽費ホーム 50、グループホーム 56、サ高住 44 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 44 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 54 とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、1629 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**【医療と介護の需要予測】**

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+29%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は-4%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

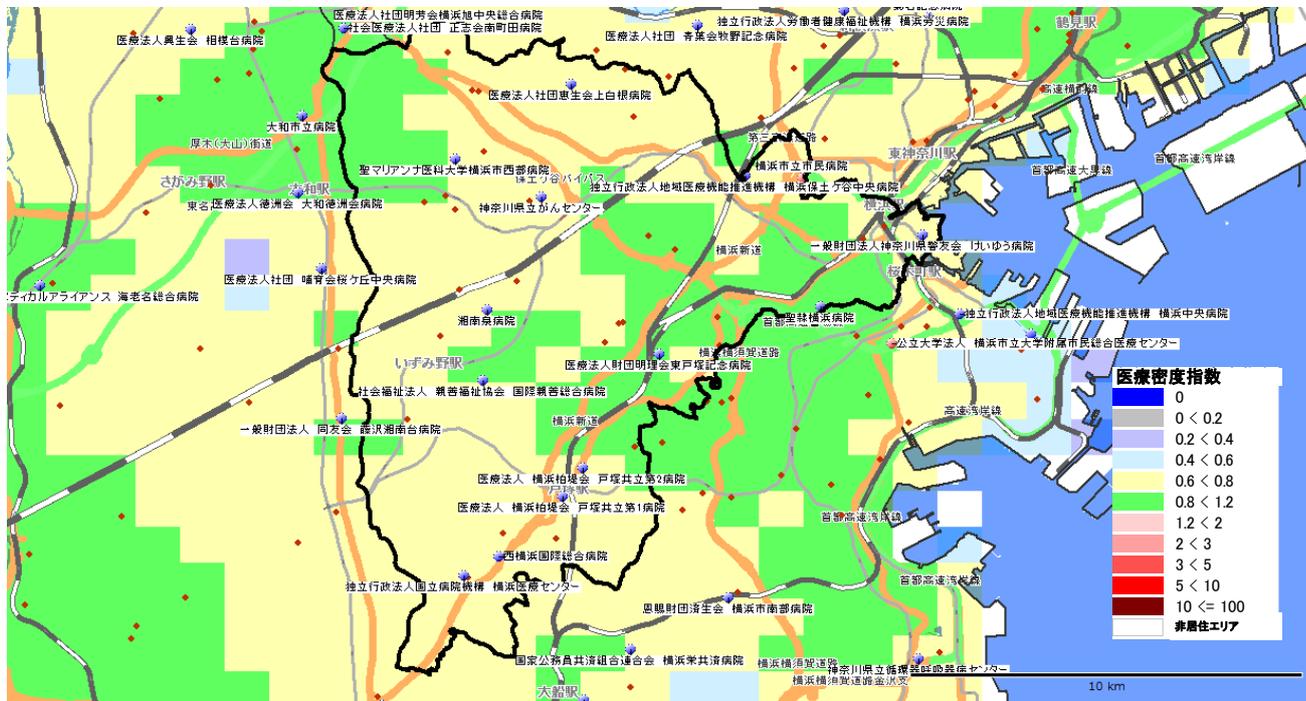
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

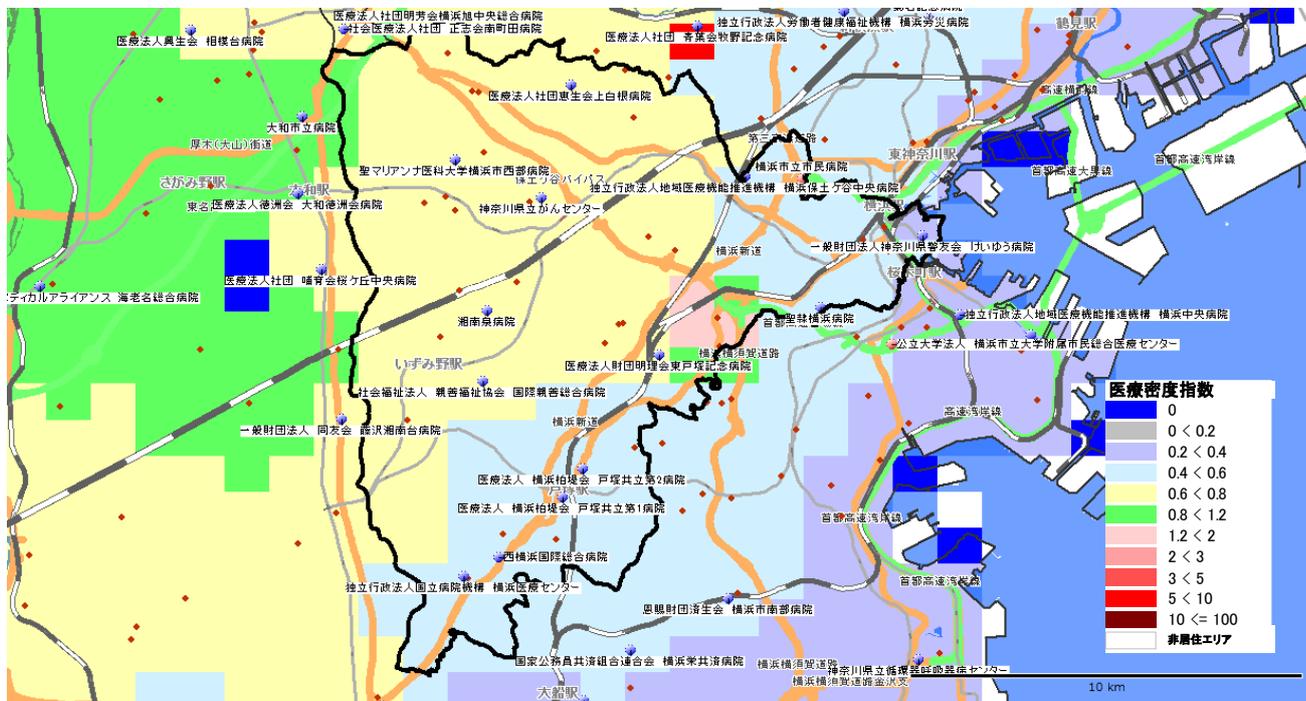
# 14. 神奈川県

## 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 14-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 14-2-2 慢性期医療密度指数マップ

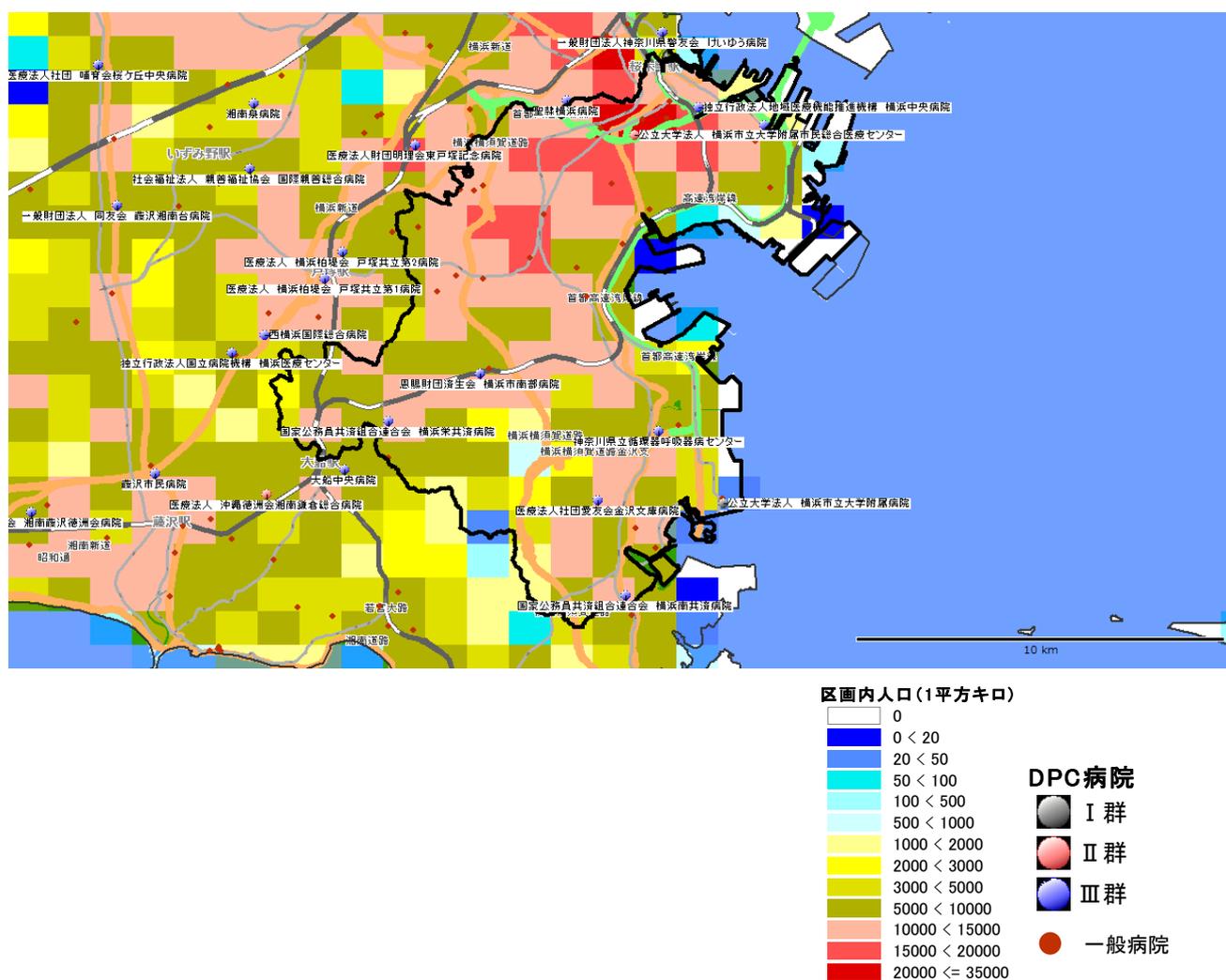


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# よこはまなんぶ 14-3. 横浜南部医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [中区](#), [南区](#), [磯子区](#), [金沢区](#), [港南区](#), [栄区](#)

人口分布<sup>2</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 横浜南部医療圏を1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 14. 神奈川県

### (横浜南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 横浜南部(横浜市(中区))は、総人口約1060千人(2015年推計)、面積122km<sup>2</sup>、人口密度は8686人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 横浜南部の総人口は2025年に1017千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に899千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の134千人が、2025年にかけて191千人へと増加し(2015年比+43%)、2040年には193千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 横浜南部の一人当たり医療費(国保)は294千円(偏差値46)、介護給付費は247千円(偏差値49)であり、医療費はやや低い、介護給付費は全国平均レベルである。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 横浜南部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は0.37で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が56(病院医師数53、診療所医師数62)と、総医師数、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は43と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は59と多い。横浜南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の横浜市立大学附属市民総合医療センター(Ⅱ群・救命)、横浜市立みなと赤十字病院(救命)、横浜市南部病院、横浜南共済病院、横浜市立大学附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院、500例以上の横浜中央病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は40と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 横浜南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8857人(75歳以上1000人当たりの偏差値32)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4971床(偏差値33)、高齢者住宅等が3886床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回り、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7619人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム39、介護療養

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホーム 56、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 41、サ高住 37 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 43 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 48 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、2094 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-36%であり、介護の充足度はかなり低い。2040 年の介護充足度指数は-95%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

---

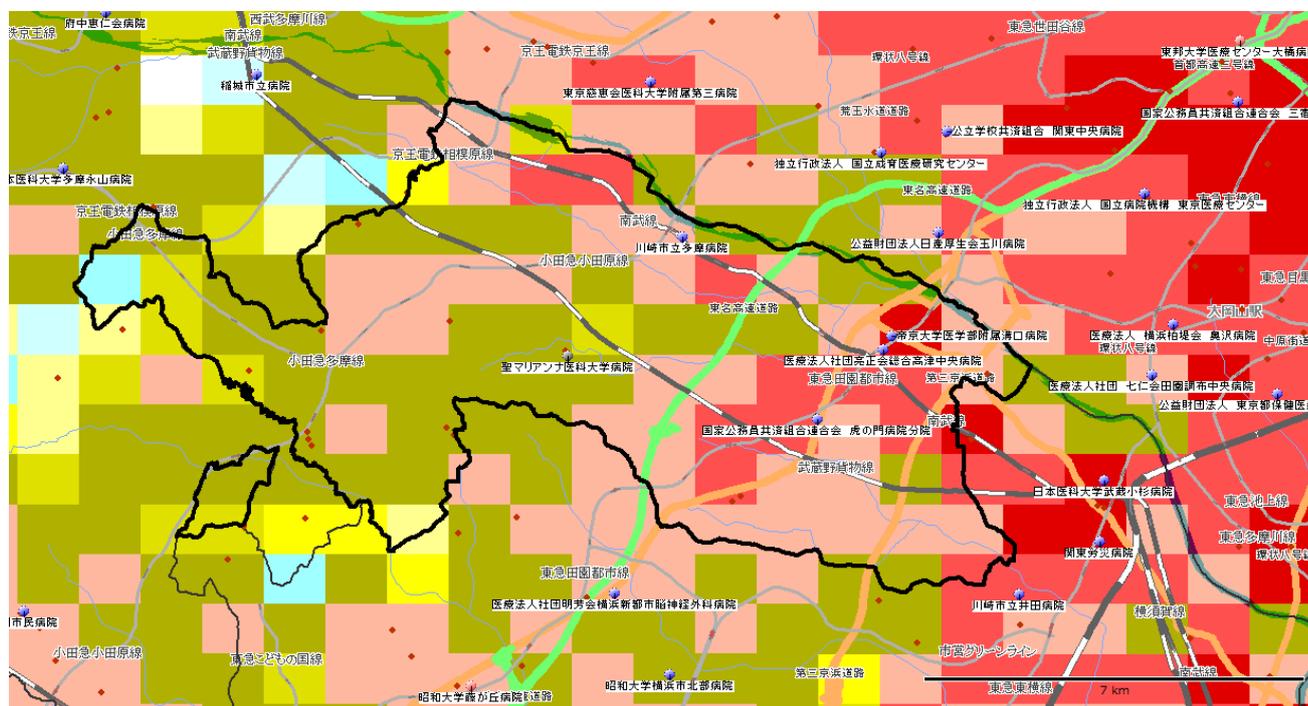
<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。



# 14-4. 川崎北部医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 高津区,多摩区,宮前区,麻生区

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 川崎北部医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000 人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 14. 神奈川県

### (川崎北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：**川崎北部(川崎市(高津区))は、総人口約853千人(2015年推計)、面積79km<sup>2</sup>、人口密度は10835人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：**川崎北部の総人口は2025年に879千人へと増加し(2015年比+3%)、2040年に868千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の78千人が、2025年にかけて120千人へと増加し(2015年比+54%)、2040年には150千人へと増加する(2025年比+25%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：**川崎北部の一人当たり医療費(国保)は283千円(偏差値44)、介護給付費は243千円(偏差値48)であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：**川崎北部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は0.7、一人当たり慢性期医療密度指数は0.28で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：**総医師数の偏差値が45(病院医師数46、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は34と非常に少ない。

**\*一般病床等の現状：**人口当たりの一般病床の偏差値は36で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。川崎北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の聖マリアンナ医科大学病院(I群・救命)、1000例以上の帝京大学医学部附属溝口病院、川崎市立多摩病院、川崎市立井田病院、日本鋼管病院、太田総合病院、日本医科大学武蔵小杉病院(救命)、500例以上の高津中央病院がある。

**\*療養病床の現状：**人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：**総療法士数は偏差値39と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

**\*精神病床の現状：**人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

**\*診療所の現状：**人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：**川崎北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11531人(75歳以上1000人当たりの偏差値82)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3923床(偏差値43)、高齢者住宅等が7608床(偏差値92)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6572人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム46、介護療養

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

型医療施設 48、有料老人ホーム 107、軽費ホーム 58、グループホーム 54、サ高住 50 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 48 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 44 と少ない。介護職員（在宅）の合計は、890 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+38%であり、介護の充足度は非常に高い。2040 年の介護充足度指数は-19%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

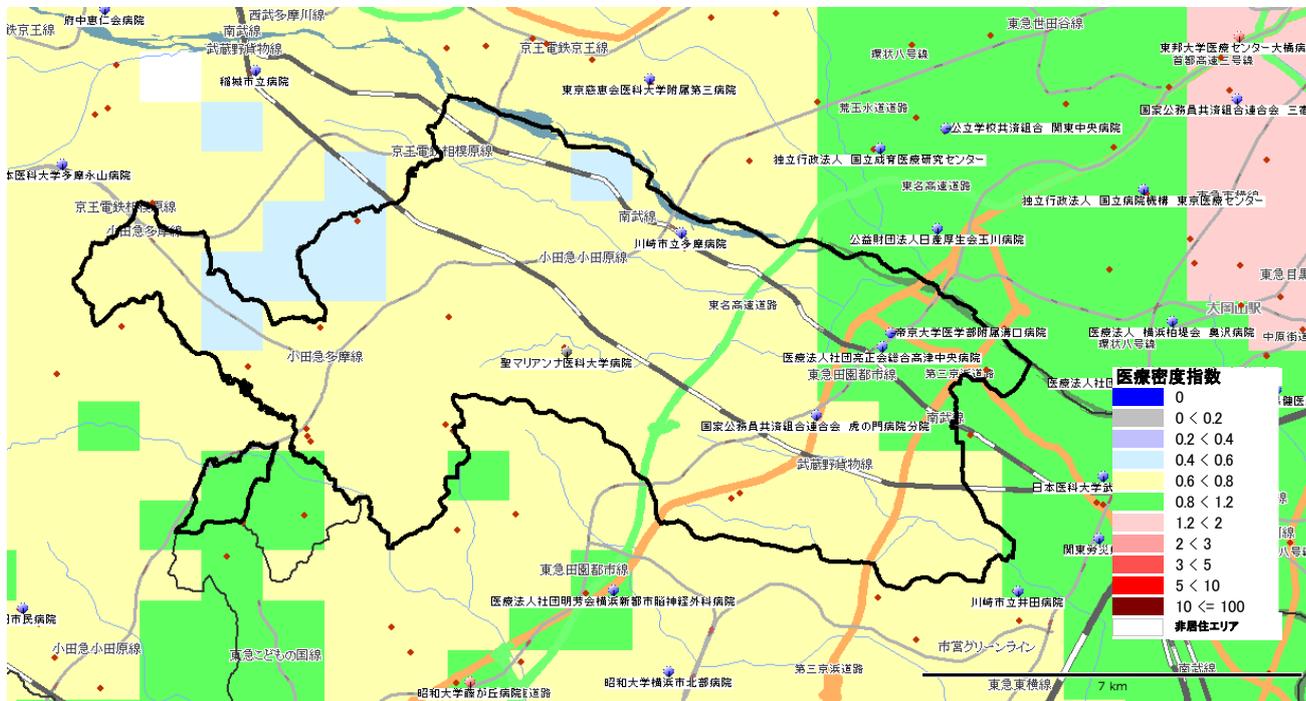
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

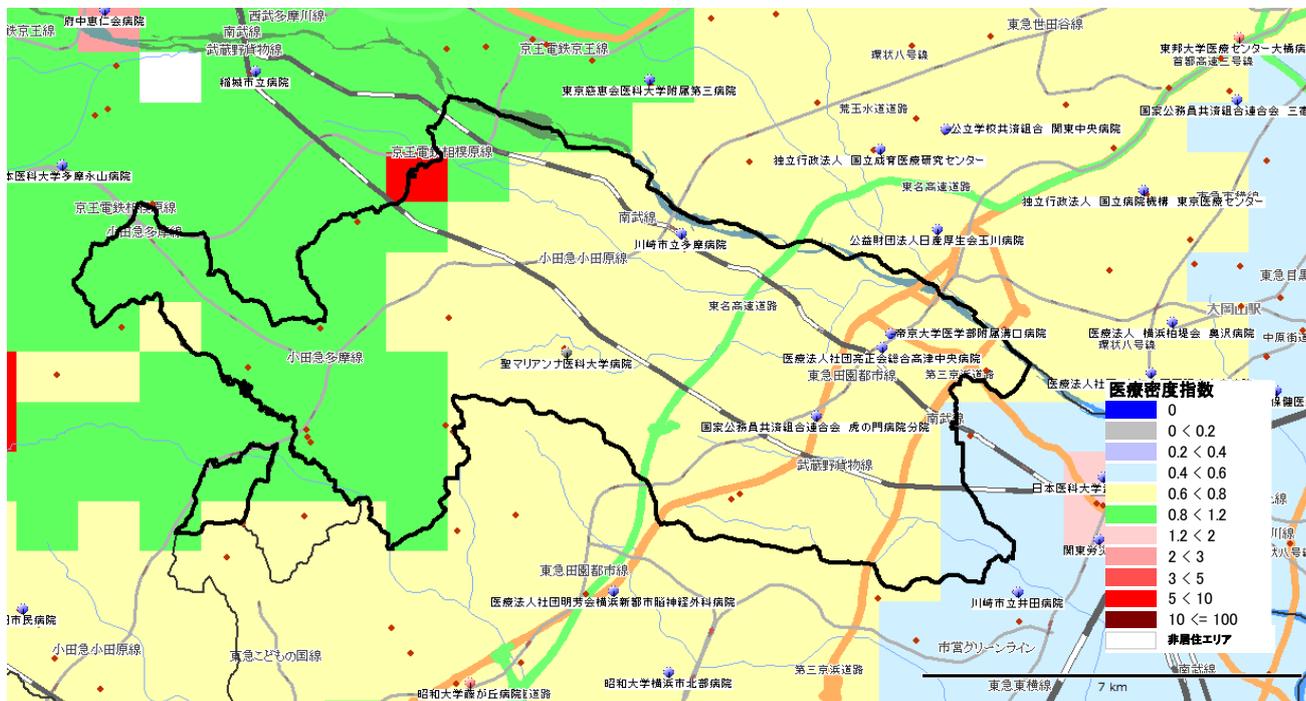
## 14. 神奈川県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 14-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 14-4-2 慢性期医療密度指数マップ

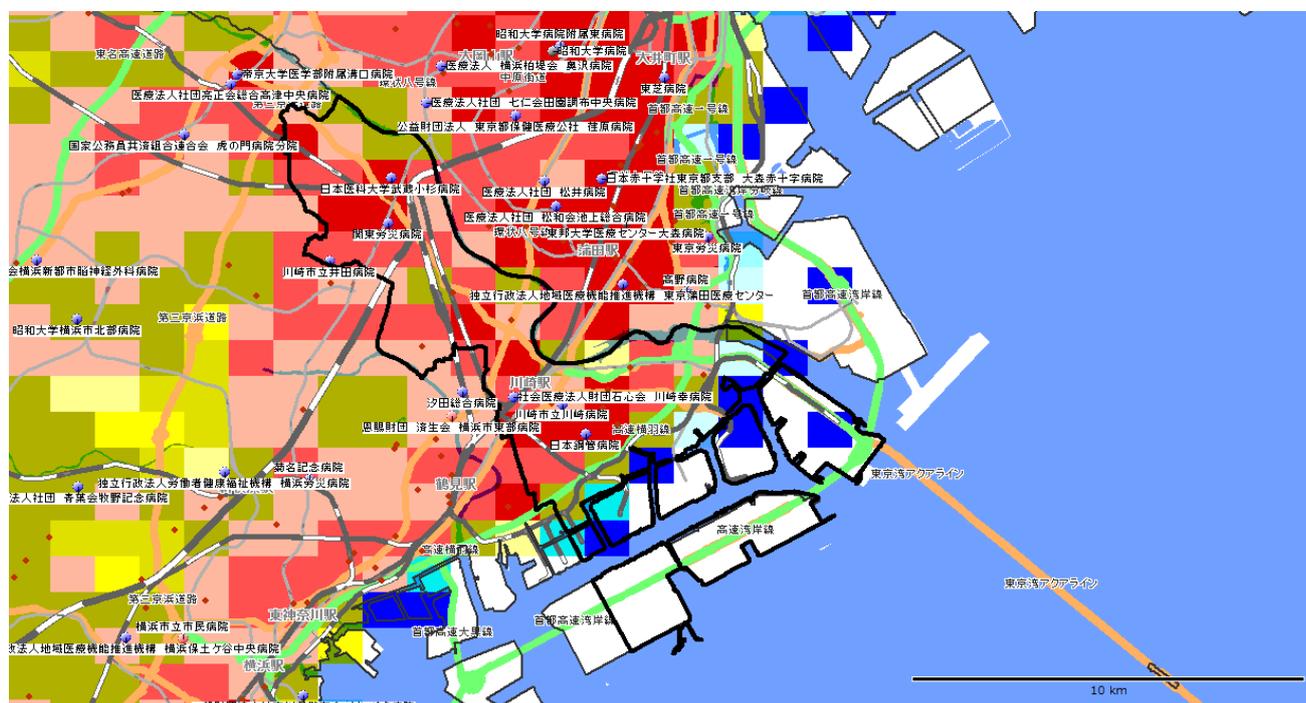


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

かわさきなんぶ  
**14-5. 川崎南部医療圏**

構成市区町村<sup>1</sup> 川崎区,幸区,中原区

人口分布<sup>2</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 川崎南部医療圏を1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 14. 神奈川県

### (川崎南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

\*人口、面積など：川崎南部(川崎市(川崎区))は、総人口約615千人(2015年推計)、面積64km<sup>2</sup>、人口密度は9618人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：川崎南部の総人口は2025年に624千人へと増加し(2015年比+1%)、2040年に607千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の57千人が、2025年にかけて75千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には83千人へと増加する(2025年比+11%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：川崎南部の一人当たり医療費(国保)は283千円(偏差値44)、介護給付費は243千円(偏差値48)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

#### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：川崎南部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は0.35で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が52(病院医師数51、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は44と少ない。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は56と多い。川崎南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の川崎幸病院、川崎市立川崎病院(救命)、関東労災病院がある。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は39で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：川崎南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5247人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2125床(偏差値33)、高齢者住宅等が3122床(偏差値63)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3720人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設31、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム67、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム52、サ高住52である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は存在しない。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

介護職員（在宅）の合計は、930人（75歳以上1000人当たりの偏差値56）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-4%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-52%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

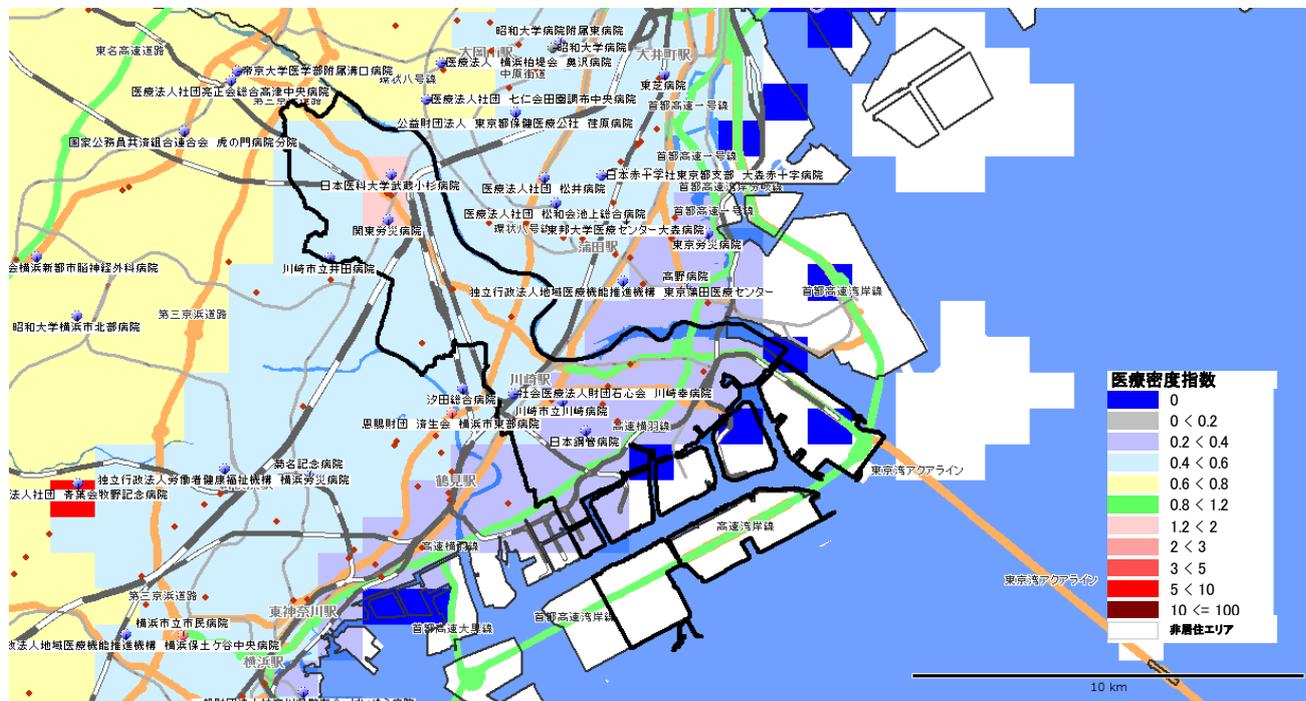
## 14. 神奈川県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 14-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表 14-5-2 慢性期医療密度指数マップ



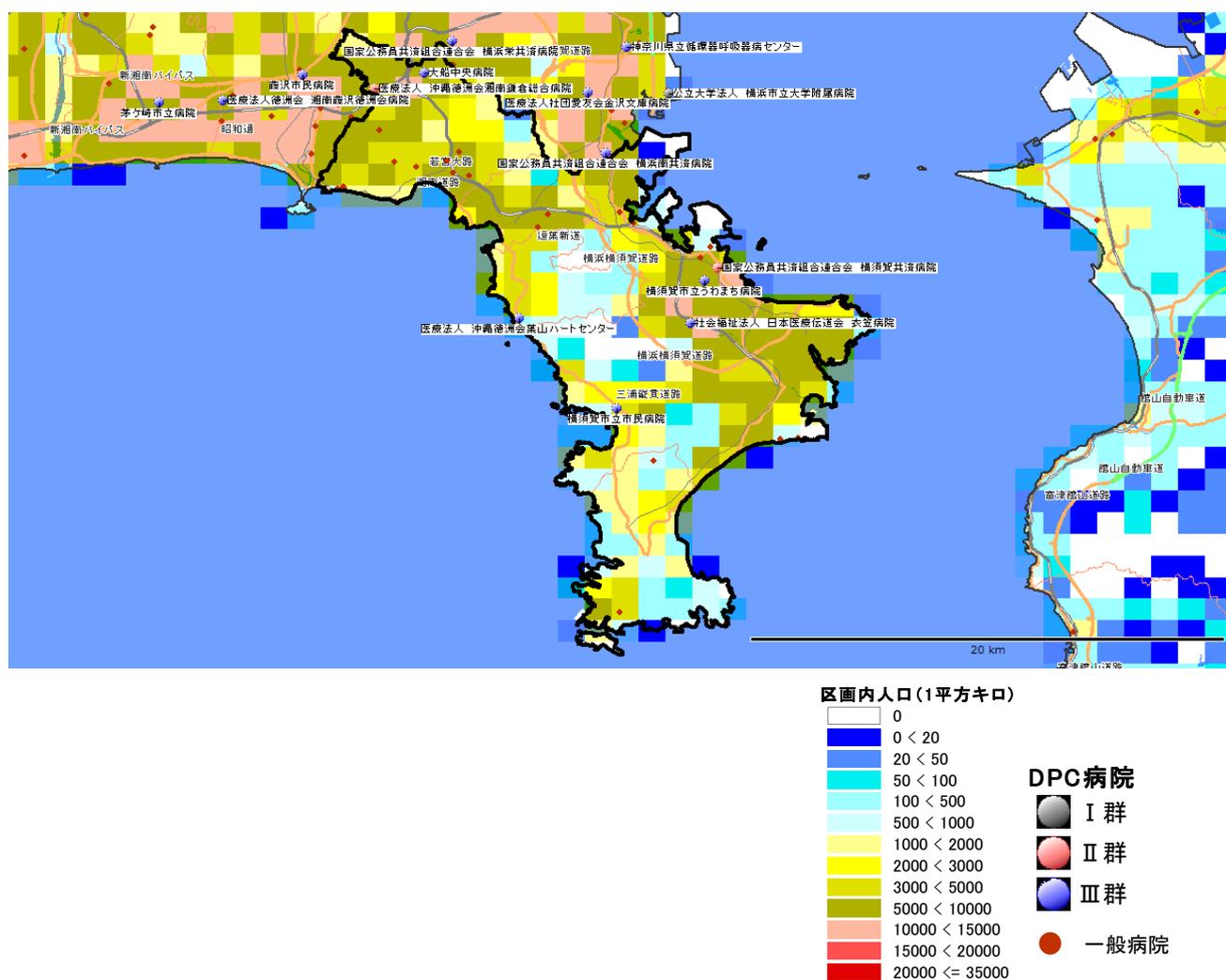
<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# よこすか みうら

## 14-6. 横須賀・三浦医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [横須賀市](#), [鎌倉市](#), [逗子市](#), [三浦市](#), [葉山町](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 横須賀・三浦医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (横須賀・三浦医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 横須賀・三浦(横須賀市)は、総人口約717千人(2015年推計)、面積207km<sup>2</sup>、人口密度は3464人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 横須賀・三浦の総人口は2025年に667千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に570千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の106千人が、2025年にかけて138千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には123千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 横須賀・三浦の一人当たり医療費(国保)は303千円(偏差値48)、介護給付費は236千円(偏差値46)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 横須賀・三浦の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は0.67、一人当たり慢性期医療密度指数は0.56で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が50(病院医師数47、診療所医師数56)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は41と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。横須賀・三浦には、年間全身麻酔件数が2000例以上の横須賀共済病院(Ⅱ群・救命)、湘南鎌倉総合病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の横須賀市立市民病院、大船中央病院、横須賀市立うわまち病院(救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 横須賀・三浦の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9870人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5138床(偏差値42)、高齢者住宅等が4732床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7076人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設41、有料老人ホーム69、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住36で

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

ある。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 49 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 49 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、1197 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+7%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-9%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

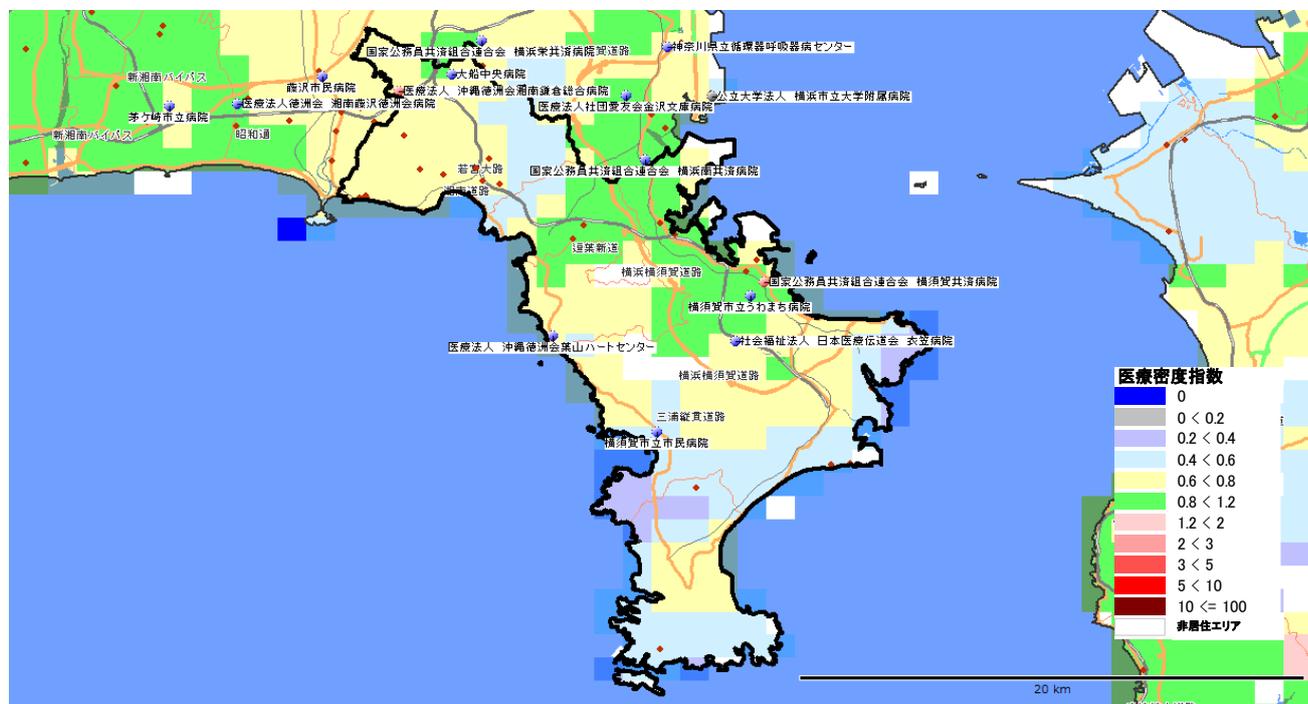
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

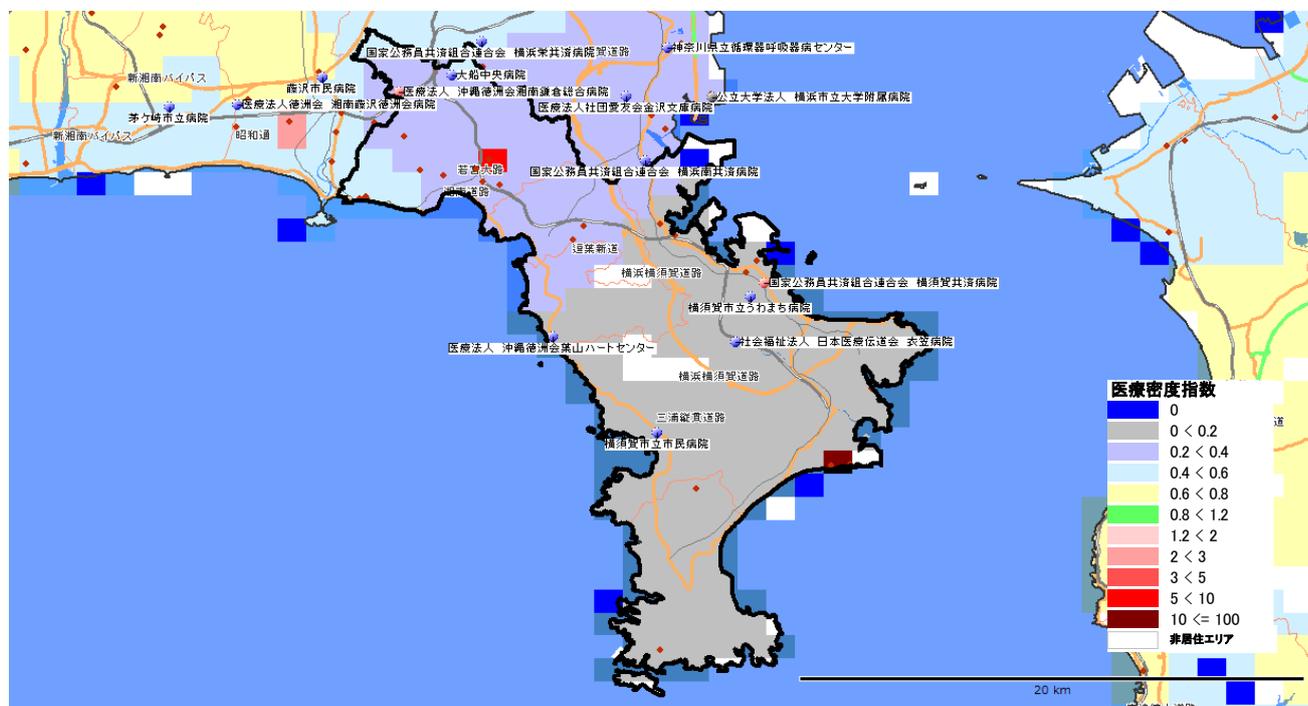
# 14. 神奈川県

## 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 14-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表 14-6-2 慢性期医療密度指数マップ

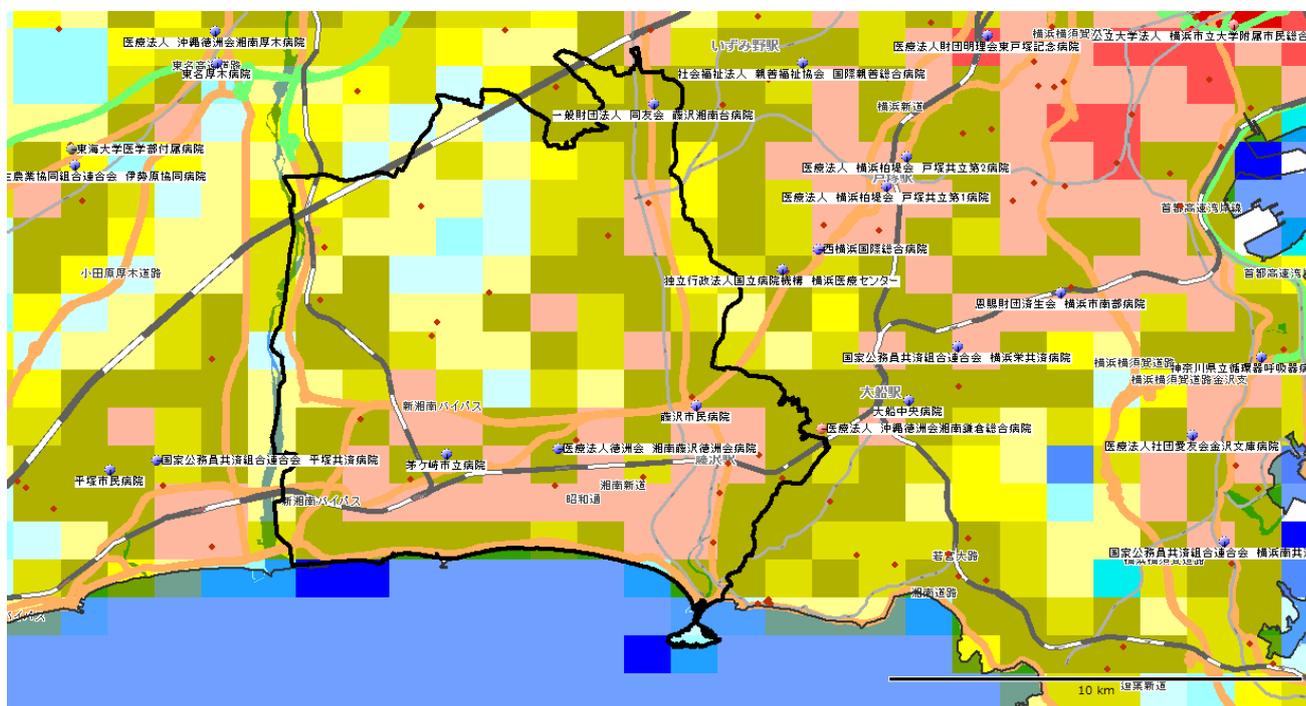


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 14-7. しょうなんとうぶ 湘南東部医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 藤沢市, 茅ヶ崎市, 寒川町

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 湘南東部医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000 人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 14. 神奈川県

### (湘南東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 湘南東部(藤沢市)は、総人口約 702 千人(2015 年推計)、面積 119 km<sup>2</sup>、人口密度は 5919 人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 湘南東部の総人口は 2025 年に 695 千人へと減少し(2015 年比-1%)、2040 年に 650 千人へと減少する(2025 年比-6%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 76 千人が、2025 年にかけて 112 千人へと増加し(2015 年比+47%)、2040 年には 117 千人へと増加する(2025 年比+4%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 湘南東部の一人当たり医療費(国保)は 287 千円(偏差値 45)、介護給付費は 202 千円(偏差値 37)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 湘南東部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.79 で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 42(病院医師数 39、診療所医師数 50)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 37 と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 36 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 39 と少ない。湘南東部には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の藤沢市民病院(救命)、1000 例以上の湘南藤沢徳洲会病院、茅ヶ崎市立病院、藤沢湘南台病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 44 と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 41 と少なく、回復期病床数は偏差値 44 と少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 44 で精神病床数は少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 48 で診療所数は全国平均レベルである。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 湘南東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7069 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 3158 床(偏差値 37)、高齢者住宅等が 3911 床(偏差値 60)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5069 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 44)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 40、特別養護老人ホーム 41、介護療養型医療施設 44、有料老人ホーム 64、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 46、サ高住 56 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 57 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 51 と全

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、962人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-6%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-63%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

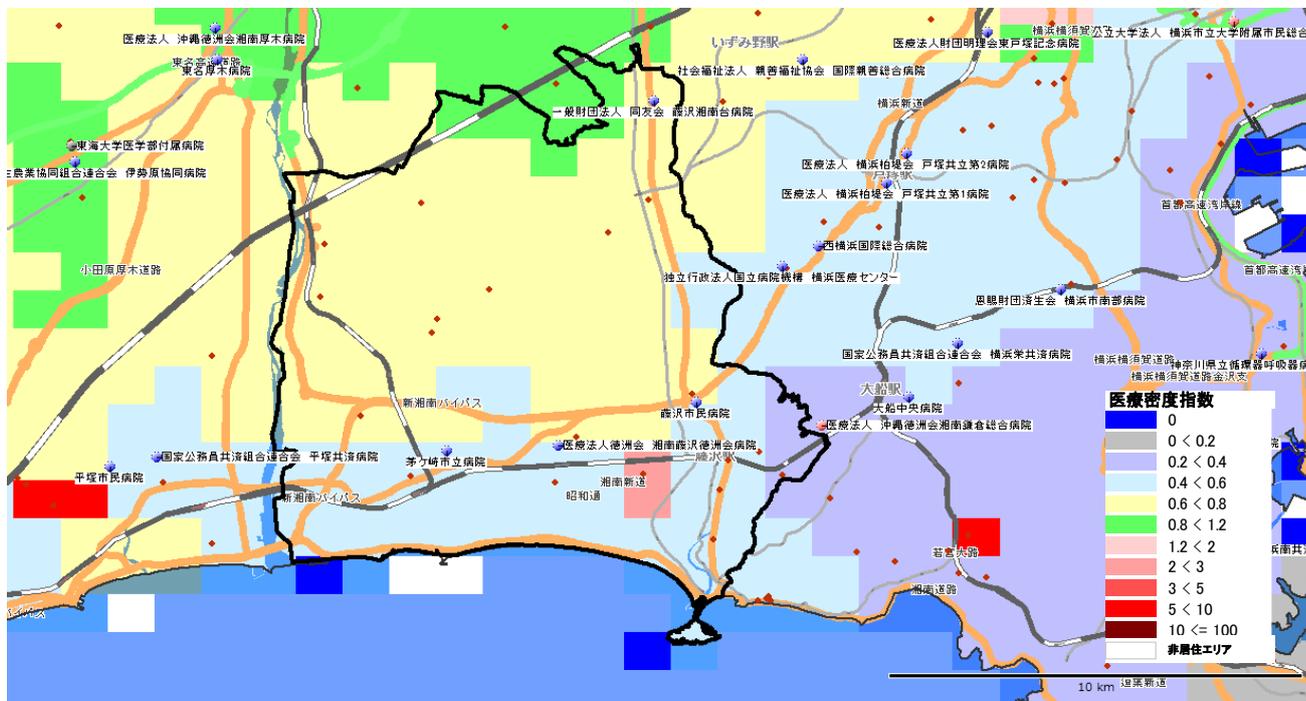
# 14. 神奈川県

## 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 14-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表 14-7-2 慢性期医療密度指数マップ

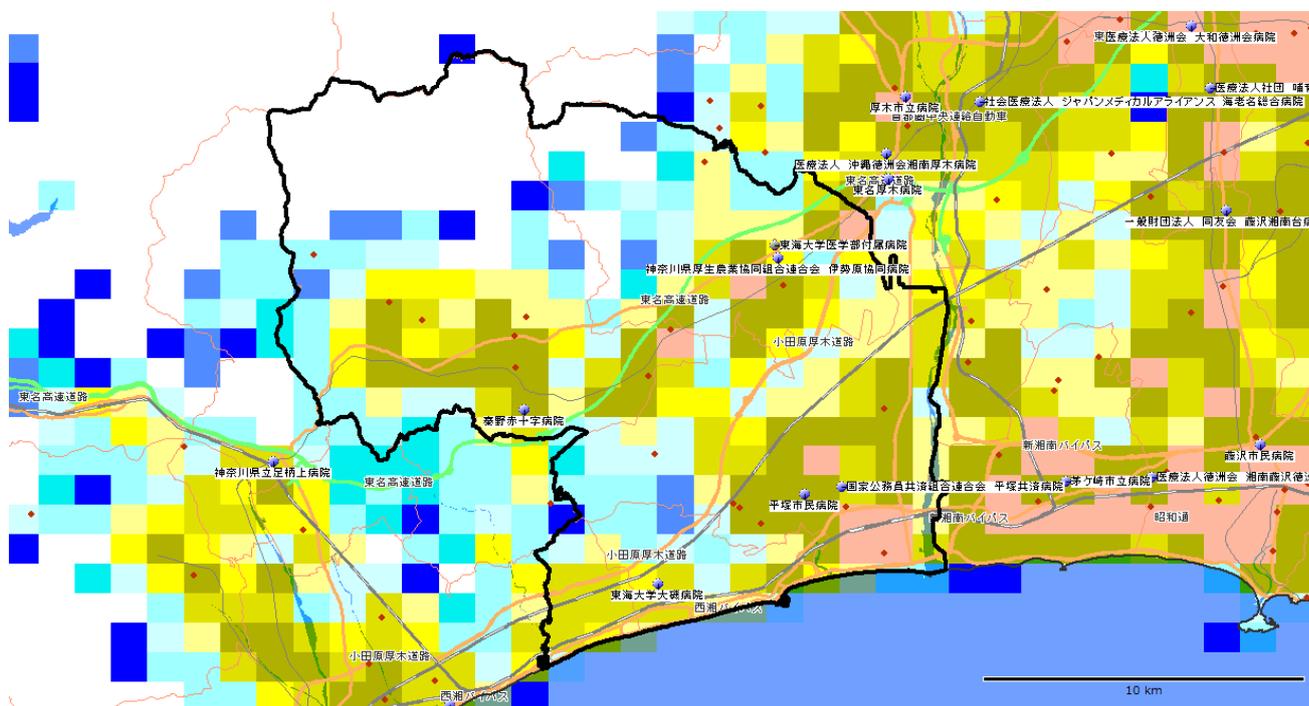


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 14-8. しょうなんせいぶ 湘南西部医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 平塚市,秦野市,伊勢原市,大磯町,二宮町

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 湘南西部医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所：国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 14. 神奈川県

### (湘南西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 湘南西部(平塚市)は、総人口約 593 千人(2015 年推計)、面積 253 km<sup>2</sup>、人口密度は 2342 人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 湘南西部の総人口は 2025 年に 572 千人へと減少し(2015 年比-4%)、2040 年に 509 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 67 千人が、2025 年にかけて 104 千人へと増加し(2015 年比+55%)、2040 年には 106 千人へと増加する(2025 年比+2%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 湘南西部の一人当たり医療費(国保)は 307 千円(偏差値 49)、介護給付費は 210 千円(偏差値 39)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 湘南西部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.67 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 51(病院医師数 54、診療所医師数 45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 45 とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 45 で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は 54 とやや多い。湘南西部には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の東海大学医学部付属病院(I 群・救命)、1000 例以上の伊勢原協同病院、平塚共済病院、秦野赤十字病院、平塚市民病院、500 例以上の東海大学大磯病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 48 と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 47 とやや少なく、回復期病床数は偏差値 48 と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 49 で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 43 で診療所数は少ない。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 湘南西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7268 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 3287 床(偏差値 42)、高齢者住宅等が 3981 床(偏差値 66)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4752 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム72、軽費ホーム58、グループホーム46、サ高住52である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。介護職員（在宅）の合計は、718人（75歳以上1000人当たりの偏差値45）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+14%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-36%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

---

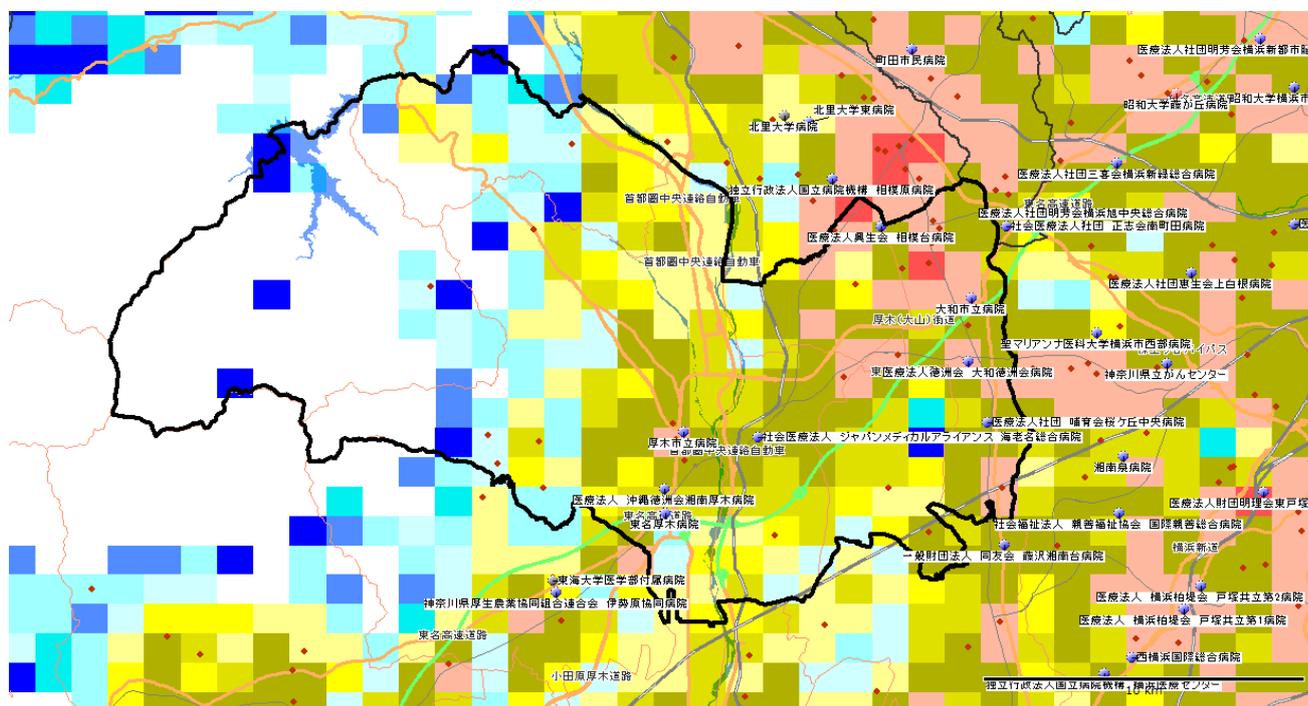
<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。



# 14-9. けんおう 県央医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [厚木市](#), [大和市](#), [海老名市](#), [座間市](#), [綾瀬市](#), [愛川町](#), [清川村](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 県央医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 14. 神奈川県

### (県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 県央(厚木市)は、総人口約 842 千人(2015 年推計)、面積 293 km<sup>2</sup>、人口密度は 2877 人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 県央の総人口は 2025 年に 823 千人へと減少し(2015 年比-2%)、2040 年に 747 千人へと減少する(2025 年比-9%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 81 千人が、2025 年にかけて 133 千人へと増加し(2015 年比+64%)、2040 年には 136 千人へと増加する(2025 年比+2%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 県央の一人当たり医療費(国保)は 285 千円(偏差値 44)、介護給付費は 184 千円(偏差値 32)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 県央の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.76、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.93 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 41(病院医師数 38、診療所医師数 50)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 38 と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 40 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 43 と少ない。県央には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の海老名総合病院、1000 例以上の大和市立病院、厚木市立病院、500 例以上の東名厚木病院、相模台病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 43 と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 44 と少なく、回復期病床数は偏差値 51 と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 46 で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 41 で診療所数は少ない。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8205 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 4306 床(偏差値 45)、高齢者住宅等が 3899 床(偏差値 58)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5881 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 46、特別養護老人ホーム 50、介護療養型医療施設 41、有料老人ホーム 62、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 46、サ高住 54 である。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 47 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 44 と少ない。介護職員（在宅）の合計は、883 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**【医療と介護の需要予測】**

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+3%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-62%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

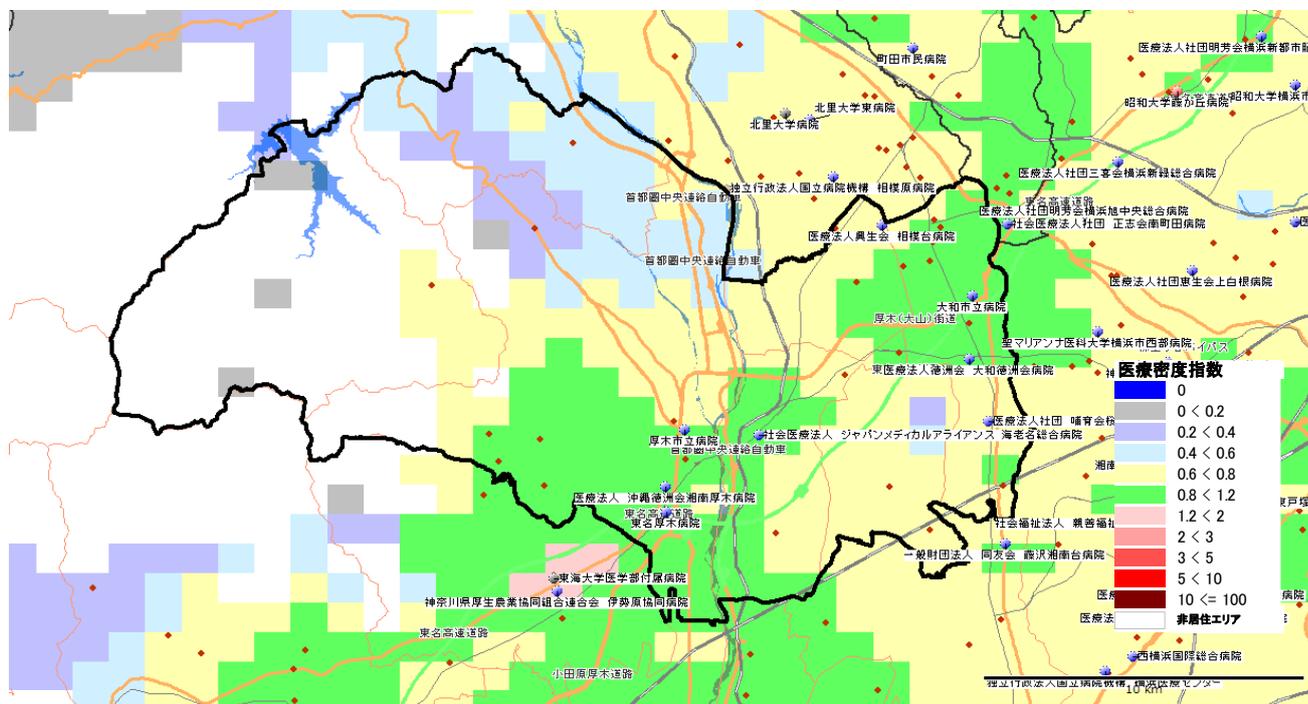
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均 (95.5 床) と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

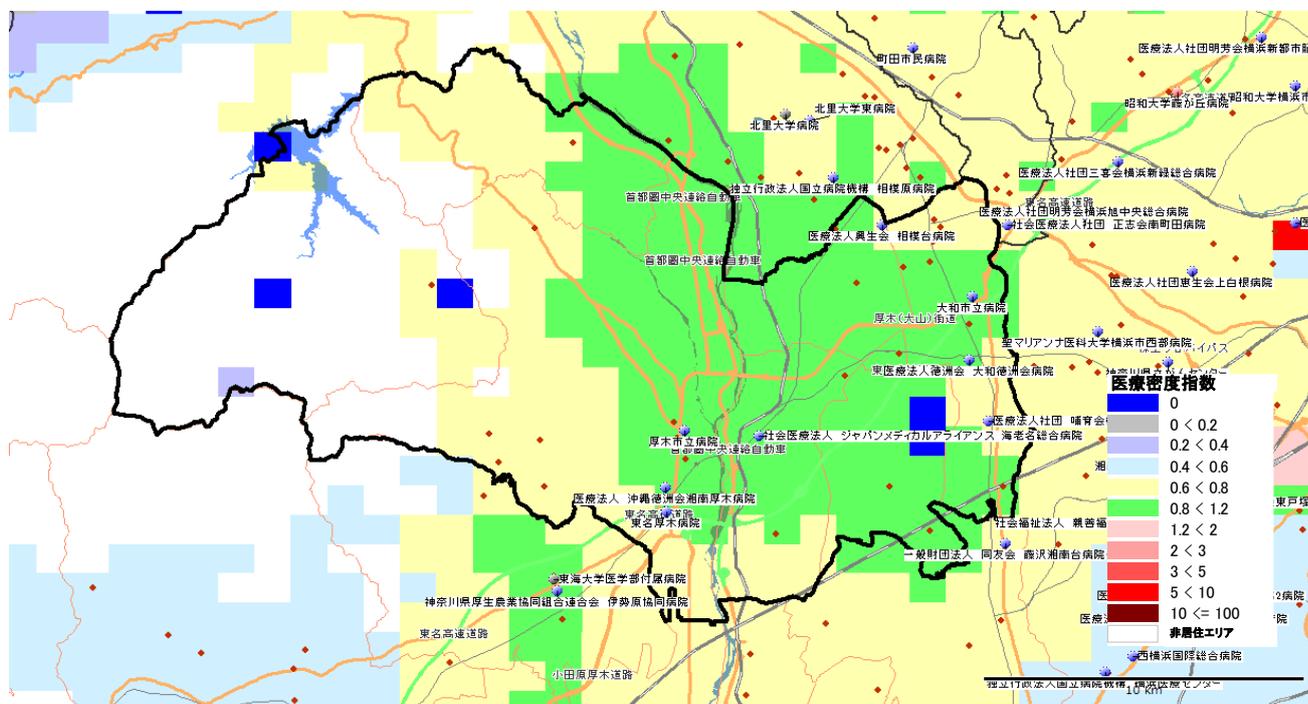
## 14. 神奈川県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 14-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表 14-9-2 慢性期医療密度指数マップ

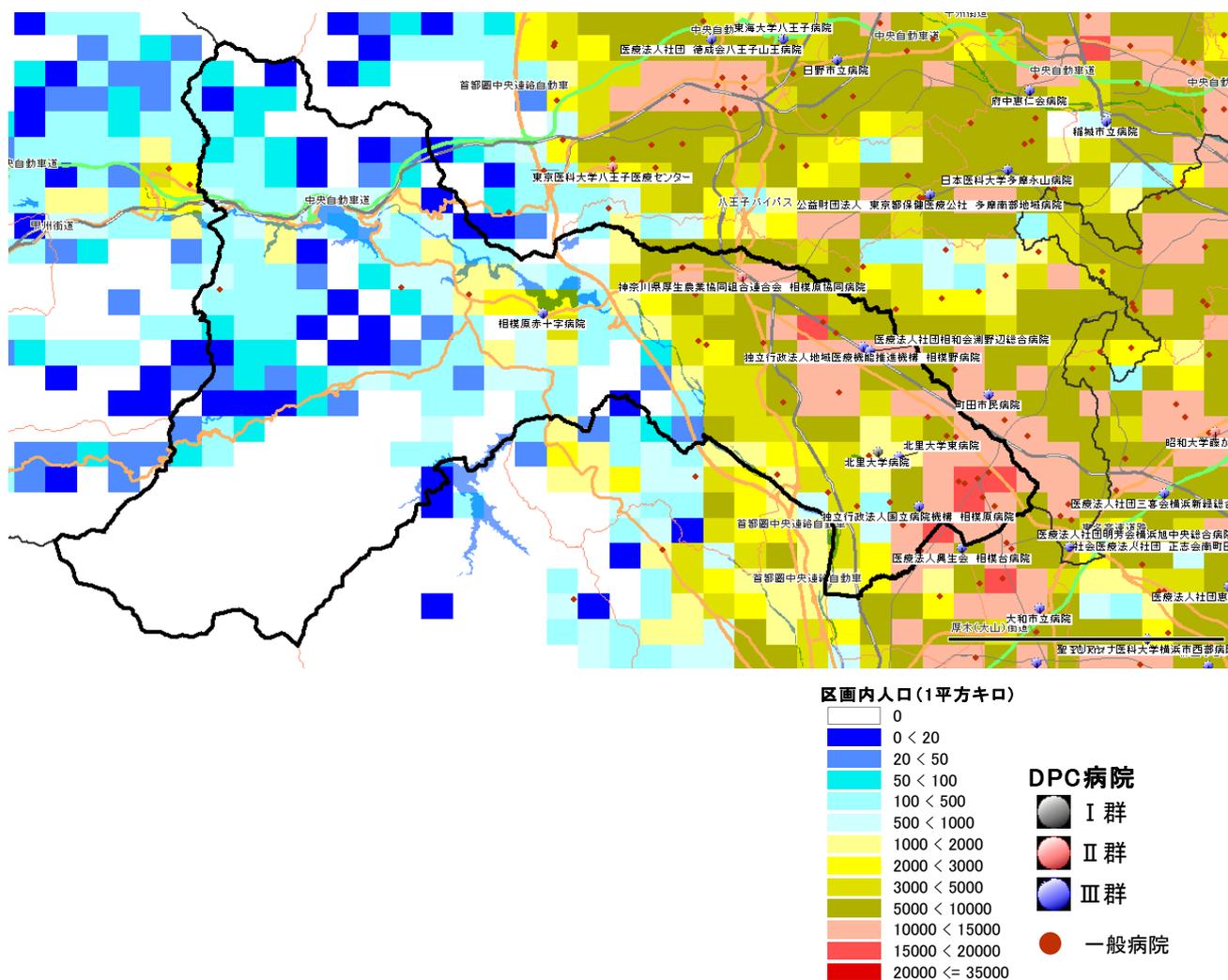


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# さがみはら 14-10. 相模原医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [緑区](#), [中央区](#), [南区](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 相模原医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 14. 神奈川県

### (相模原医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 相模原(相模原市)は、総人口約724千人(2015年推計)、面積329km<sup>2</sup>、人口密度は2201人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 相模原の総人口は2025年に711千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に651千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の74千人が、2025年にかけて120千人へと増加し(2015年比+62%)、2040年には130千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 相模原の一人当たり医療費(国保)は278千円(偏差値42)、介護給付費は203千円(偏差値37)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 相模原の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数は0.82で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が49(病院医師数53、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。相模原には、年間全身麻酔件数が2000例以上の北里大学病院(I群・救命)、相模原協同病院(II群)、1000例以上の澁野辺総合病院、相模原病院、北里大学東病院、500例以上の相模野病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 相模原の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8493人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4985床(偏差値57)、高齢者住宅等が3508床(偏差値57)である。介護保険施設、高齢者住宅系ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5877人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設63、有料老人ホーム60、軽費ホーム46、グループホーム54、サ高住49である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、838人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+19%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-42%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

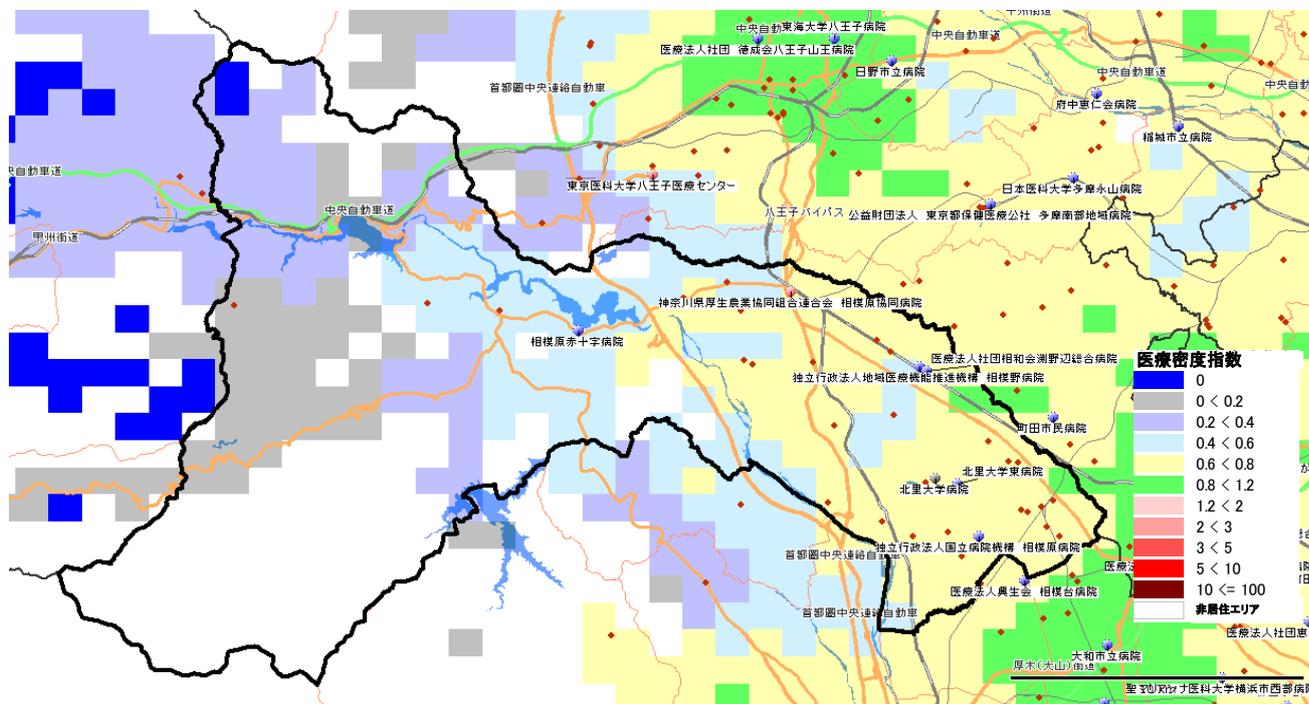
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

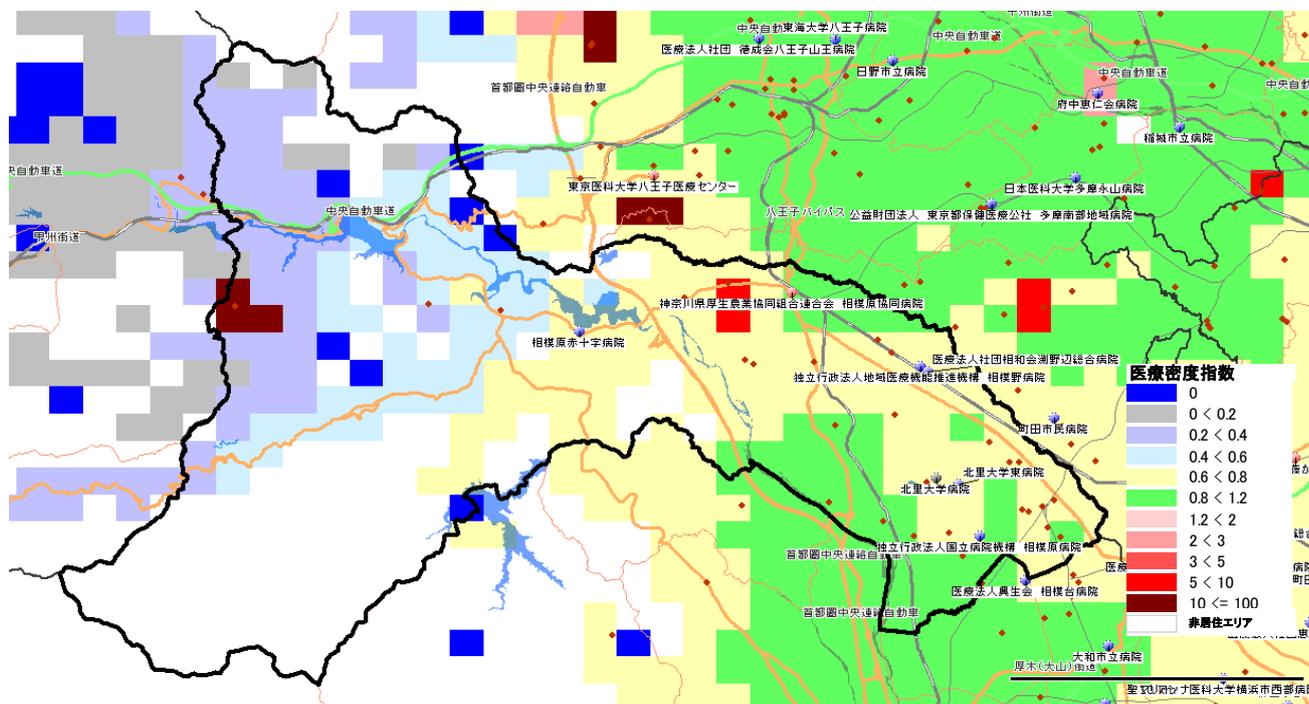
# 14. 神奈川県

## 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 14-10-1 急性期医療密度指数マップ



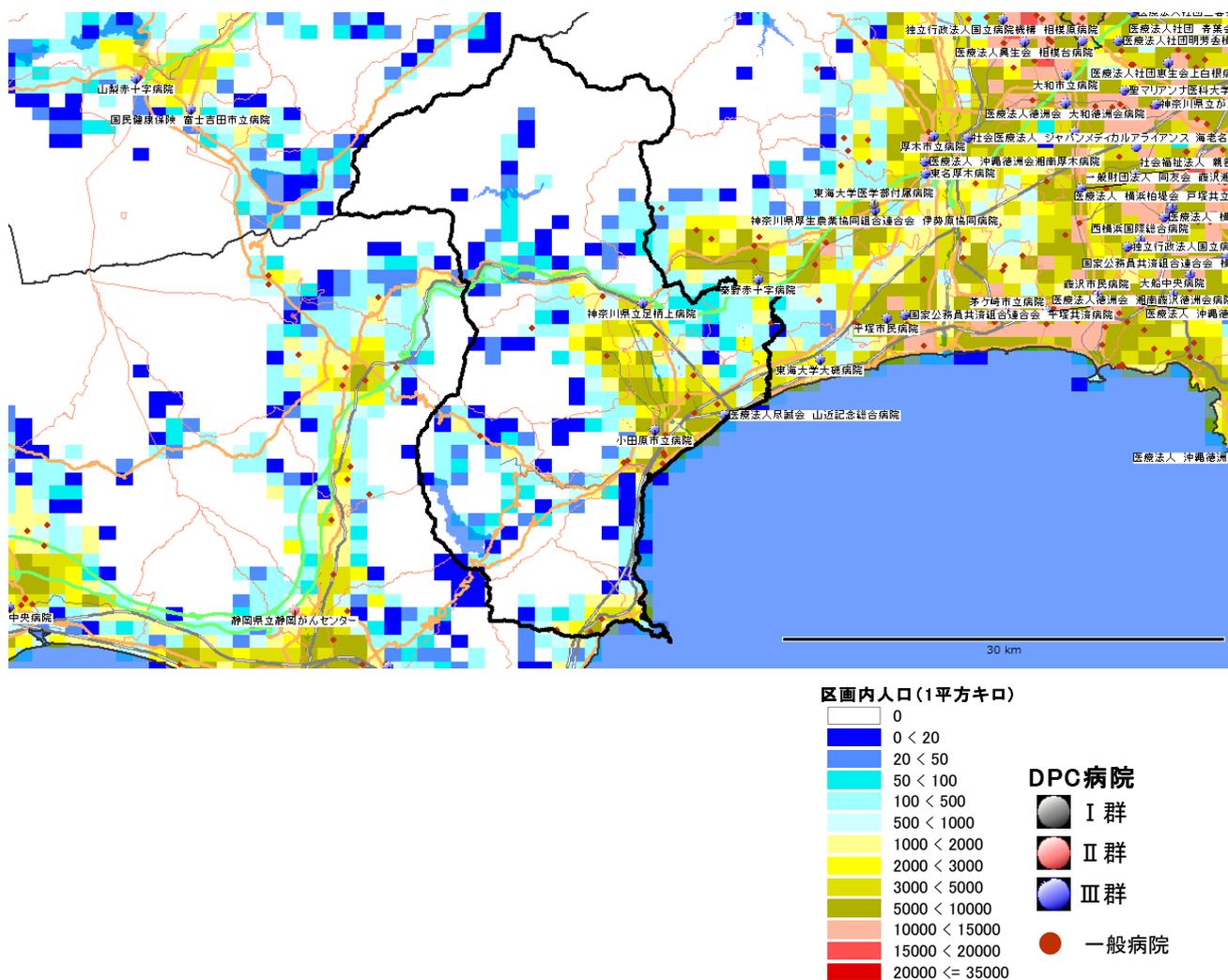
図表 14-10-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 14-11. けんせい 県西医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 小田原市,南足柄市,中井町,大井町,松田町,山北町,開成町,箱根町,真鶴町,湯河原町  
 人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 県西医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 14. 神奈川県

### (県西医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 県西(小田原市)は、総人口約 350 千人(2015 年推計)、面積 635 km<sup>2</sup>、人口密度は 551 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 県西の総人口は 2025 年に 325 千人へと減少し(2015 年比-7%)、2040 年に 275 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 48 千人が、2025 年にかけて 64 千人へと増加し(2015 年比+33%)、2040 年には 61 千人へと減少する(2025 年比-5%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 県西の一人当たり医療費(国保)は 310 千円(偏差値 50)、介護給付費は 211 千円(偏差値 39)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 県西の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.68、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.01 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 45(病院医師数 42、診療所医師数 51)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 43 と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 45 で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は 42 と少ない。県西には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の小田原市立病院(救命)、500 例以上の山近記念総合病院、神奈川県立足柄上病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 53 と療養病床数はやや多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 42 と少なく、回復期病床数は偏差値 42 と少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 50 で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 48 で診療所数は全国平均レベルである。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 県西の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6377 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 73)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2845 床(偏差値 51)、高齢者住宅等が 3532 床(偏差値 76)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3904 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 55)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 48、特別養護老人ホーム 53、介護療養型医療施設 48、有料老人ホーム 80、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 52、サ高住 62 である。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 52 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 43 と少ない。介護職員（在宅）の合計は、359 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 39)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**【医療と介護の需要予測】**

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+30%であり、介護の充足度は非常に高い。2040 年の介護充足度指数は+11%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰みである。

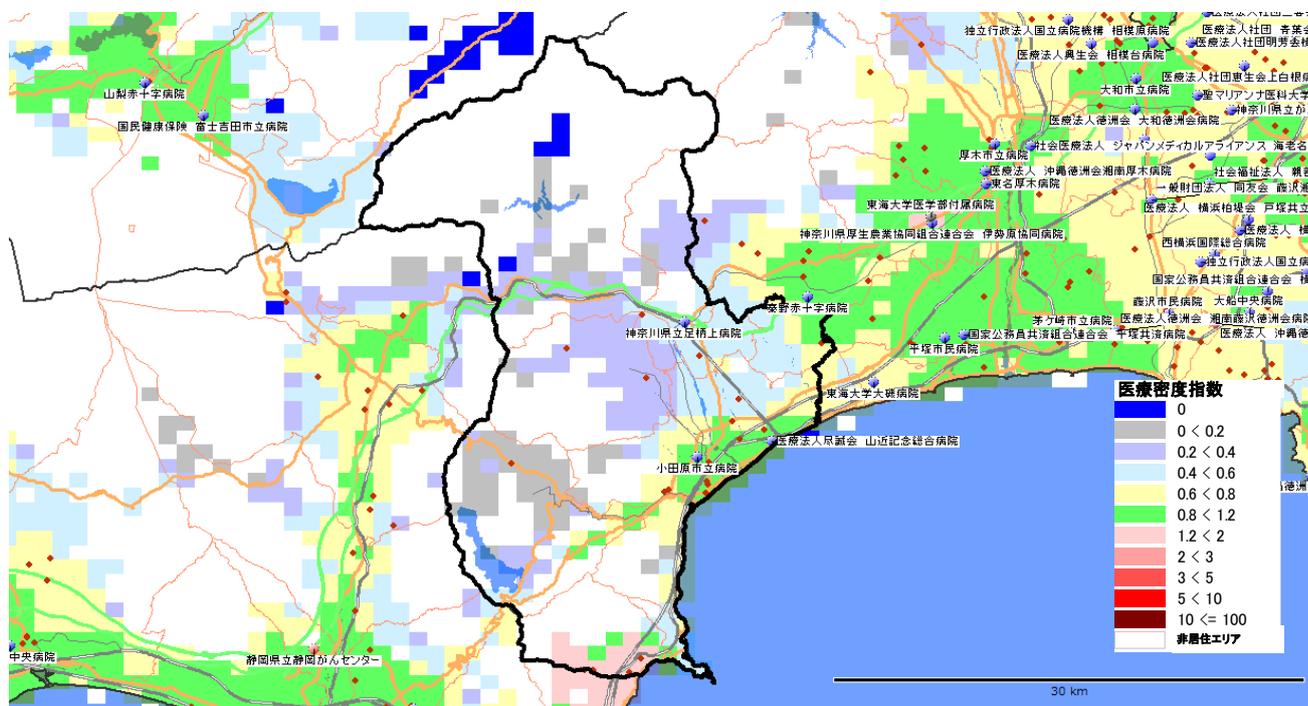
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均 (95.5 床) と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

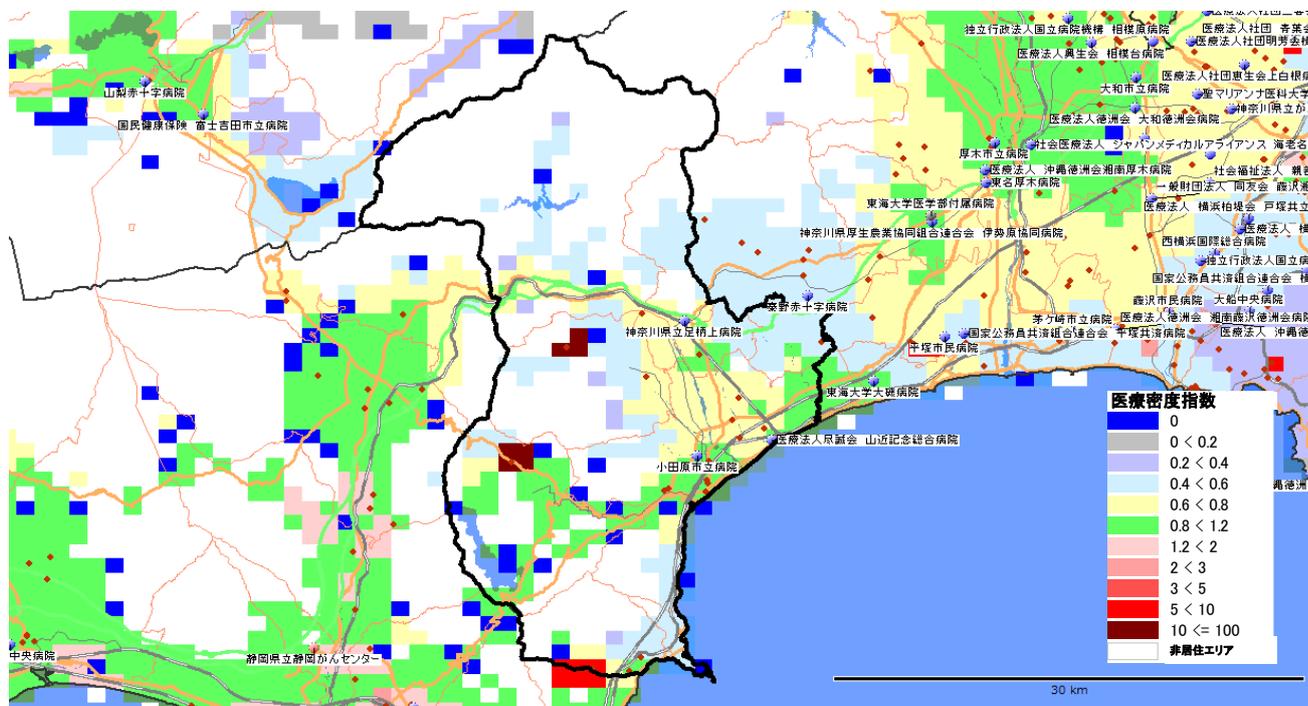
# 14. 神奈川県

## 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 14-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表 14-11-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。